

埼玉協同病院 年報 2016年 VOL.29 (通巻第31号)

目次

巻頭言	7
I. 概要	
1. 概要	11
2. 理念	13
3. 目標	14
4. 2016年度活動報告・主要行事	16
5. 組織図	23
6. 委員会等組織図	24
7. 施設基準	25
8. 教育研修指定関係	27
9. 院内研修会・講演会	29
10. 2016年度初期研修医の状況	33
11. 社会貢献活動	36
12. 外部向け教室・講座、医療懇談会、交流会	40
II. 委員会等活動状況	
2016年度委員会体制	44
クオリティマネジメントセンター	48
総合サポートセンター	50
HPH推進センター	51
教育研修センター (SKYMET運営委員会)	52
外来診療委員会	53
病棟診療委員会	54
救急診療委員会	55
がん診療委員会	56
内部監査委員会	57
MS (マネジメントシステム) 事務局	58
倫理委員会	59
診療情報提供委員会	60
医療安全委員会	61
感染対策委員会	62
栄養管理委員会	63
臨床検査適正化委員会	64

輸血療法委員会	65
透析機器安全管理委員会	66
医療ガス管理委員会	67
適切なコーディング委員会	68
臨床研修管理委員会	69
医師初期研修委員会	70
医師アシスト委員会	71
研究倫理審査委員会	72
労働安全衛生委員会	72
防災対策委員会	73
省エネ推進事務局会議	74
保育運営協議会	75
経営委員会	76
教育委員会	76
病院利用委員会	77
地域活動委員会／地域活動推進委員会	78
S H J 委員会／S H J 推進委員会	79
広報委員会	80
薬事委員会	81
医療材料検討委員会	82
クリニカルパス委員会	83
院内医学生委員会	84
院内看護学生委員会	85
S P (模擬患者) の会担当者会議	86
電子カルテ委員会	87
がん化学療法チーム	88
褥瘡チーム	90
緩和ケアチーム	90
栄養サポートチーム (N S T)	91
乳腺科医療チーム	92
循環器医療チーム	93
糖尿病医療チーム	94
呼吸器医療チーム	96
消化器内科医療チーム	97
子育て支援チーム	98
感染対策チーム (I C T)	99
B型肝炎対策チーム	101
禁煙チーム	102

認知症ケアチーム	103
Ⅲ. 医療経営統計	
1. 医療経営統計	106
2. 医療の質の改善	
(1) 医療の質改善の指標 領域一覧 (2016年版)	108
(2) 基礎情報	109
(3) 医療指標 2016年 測定値	110
3. 退院患者統計	
(1) 年代別・性別退院患者数	128
(2) 診療科別患者数および構成比率、平均年齢、在院日数の平均	129
(3) 疾病分類 (中間分類) 別患者数	130
(4) DPC6 桁別件数上位 50 傷病名	134
(5) 退院患者の主な手術 (診療科別)	135
(6) 退院患者の主な処置	142
(7) 死因統計 大分類別件数・構成比率、原死因 ICD 別患者数	144
4. 外来患者統計	
(1) 傷病別患者数および平均年齢 (主傷病名、診察時傷病名)	146
(2) 死因統計 中間分類別件数および死亡時平均年齢	147
5. 紹介患者統計	148
6. 救急患者統計	151
7. がん登録統計	152
8. 病理年報	154
9. 2016年細菌薬剤感受性検査統計・分離菌検出状況	157
(1) 薬剤感受性統計リスト (外来・入院別)	158
(2) 抗酸菌分離状況	162
(3) 検査集計	162
10. 薬剤科・副作用報告	163
Ⅳ. 診療科活動状況	
総合内科 忍 哲也科長	168
循環器内科 金子 史科長	170
呼吸器内科 原澤慶次科長	172
消化器内科 小野未来代科長	174
小児科 荒熊智宏科長	177
外科 井上 豪部長	180
乳腺外科 金子しおり科長	183
整形外科 仁平高太郎部長	184

産婦人科	市川清美部長	187
泌尿器科	林 幹純部長	190
皮膚科	伊藤理恵部長	192
眼科	堀 邦子部長	193
耳鼻咽喉科		194
精神科	雪田慎二部長	194
病理診断科	石津英喜部長	196
糖尿病内科	村上哲雄科長	197
麻酔科	西川 毅手術室長	198
放射線科	吉田英夫部長	(V 18)
臨床検査科	村上純子部長	(V 17)

V. 部門の活動状況

1. 看護部	202
2. 外来看護科Ⅰ	205
3. 外来看護科Ⅱ	206
4. 透析看護科	207
5. 手術看護科	208
6. 看護サポート	210
7. C 2病棟看護科	211
8. C 3病棟(産婦人科)看護科	212
9. C 3病棟(小児科)看護科	214
10. C 4病棟看護科	215
11. C 5病棟看護科	216
12. D 2病棟看護科	217
13. D 3病棟看護科	218
14. D 4病棟看護科	219
15. D 5病棟看護科	220
16. 薬剤科	221
17. 検査科	222
18. 放射線科・放射線画像診断科	225
19. リハビリテーション技術科	226
20. 食養科	227
21. ME科	228
22. システム管理課	230
23. 診療情報室	232
24. 外来医事課	234
25. 入院医事課	236

26. 医療社会事業課	237
27. 地域連携課	240
28. 安全企画室	241
29. 組合員活動課	243
30. 健康管理課	244
31. 資材課	245
32. つくし保育所	246
33. 総務課	247
34. 環境管理課	248
35. 教育研修室	249
36. 感染対策室	251
37. 地域連携看護科	252
38. 経営企画室	253
39. 医局事務課	254

VI. 研究業績

1. 学会発表	257
2. 講演会	265
3. 著書	269
4. 論文	270
5. ワークショップ	272
6. その他	272
研究業績一覧	273
1. 田中宏昌、忍 哲也、孫 国東、久保地美奈子、入月 聡、辻 忠男、小野未来代、増田 剛 「食道癌術後胸骨前胃管挙上再建後、下咽頭癌化学放射線療法施行後の嚥下障害に対し、 内視鏡的に経皮経食道胃管挿入術を施行した例」	273
2. 佐藤尚武、矢内 充、江橋正浩、林 悠太、増田亜希子、村上純子、細川直登 「背部痛と全身倦怠感を主訴に受診した症例」	277
3. 村上純子、小林真弓 「貯血式自己血輸血の経済的効果が及ぼす影響について」	284
4. 浅沼晃三、岸本 裕、金子しおり、栗原唯生、佐野貴之、井上 豪、植田 守、 長 潔、井合 哲、市川辰夫、石津英喜 「術前化学療法にてpCRとなった進行胃癌の1例」	293

5. 浅沼晃三、植田 守、草野賢次、佐藤新太郎、原澤慶次、石津英喜 「血清腫瘍マーカーが高値であった肺分画症の1例」	297
6. 佐野貴之、市川辰夫、井合 哲、井上 豪、長 潔、植田 守、浅沼晃三、栗原唯生、岸本 裕 「腹腔鏡下に切除した尿管管遺残症の1例」	301
7. 芳賀厚子、布施 彩、伊藤浄樹、榎本明美、市川清美 「当院における新基準導入前後の妊娠糖尿病患者についての検討」	305
8. 忍 哲也、孫 国東、田中宏昌、入月 聡、久保地美奈子、守谷能和、大石克巳、 小野未来代、増田 剛、辻 忠男 「保存的に経過をみた腸管嚢胞様気腫症の2症例」	312
9. 桑沢綾乃、仁平高太郎 「TKAにおける術後疼痛ー持続選択的脛骨神経ブロックの使用ー」	318
10. 木村美穂、安藤克利、照屋奈保美、白子弥生、新島麻耶、小池昭夫、高橋和久、土生みき子 「喫煙継続内科慢性疾患患者に対する肺年齢測定を用いた禁煙指導の有用性」	320
〈看護 抄録集掲載論文〉	
1. 佐藤淳哉 「麻酔科外来における禁煙指導の短期的効果 ——周手術期患者の意識・行動の変化に着目して——」	325
2. 齊藤今日子 「A病院手術室における術後訪問促進に向けた取り組みの成果」	327
3. 吉田佳枝 「外回り看護師の手指衛生の実態」	335
埼玉協同病院年報 掲載基準・論文投稿規程	337
編集後記 (埼玉協同病院年報編集委員会)	338

2016年 年報 巻頭言



院長 増田 剛

年報2016（通算VOL 29）が出来上がりました。今年もこうして無事にご披露出来ることを心から嬉しく思います。振り返ると2016年も例年と同様激動の1年になりました。

4月に熊本地震が発生しました。家屋の倒壊状況は凄まじく、発生3週後に訪れた際に飛行機から見た（ブルーシートによる）真っ青な光景が忘れられません。医療体制を中心的に担っていた病院が診療不能となり、地域の救急体制は崩壊寸前の状況になりました。かろうじて診療を維持し得た事業所の職員達は懸命に活動を続け、全国から派遣された支援チームとともに地域医療・介護をまもり通しました。当院からも医師・看護師など医療スタッフを派遣させて頂きました。現在も支援活動を継続している東日本大震災と併せて、今後も様々な連帯支援の活動を継続していくことが重要であるとあらためて感じています。同時に、こうした事態が私たちのこの地域に発生する可能性を常に意識して、その際に当院がしっかりと役に立てるような整備を進めていくことが必要なのだとは肝に銘じているところです。

7月には参議院選挙が施行されました。18歳選挙権開始というトピックと併せて、立憲主義の重要性を再認識する選挙となりました。その中で若い世代の新鮮な息吹を感じる事が出来たことが最大の収穫です。私もお誘いを受け参加させて頂いた炎天下の新宿駅前での宣伝行動で、マイクを握り実名で自分たちの主張を語るMSAIDs（Medical Students Against Inequality and Destitution：不公正と貧困に立ち向かう医系学生の会）の若者達の姿には医療界の先輩として心打たれる思いでした。作業療法士を目指すM君は「政治には不満だけだが自分一人が行動してもしなくてもこの国は何も変わらないと思っていた。でも自分みたいな人間がほんの少し勇気と正義感を出したら変えられるのではないかと今は思っている」と語り、看護師のKさんは「一人ひとりが人間らしく生活し、子育てを楽しみ、老後を安心して過ごせるような社会にしたい」と思いを述べました。少し疲れたオジサン（私）としてはこの国の未来を展望出来る素敵な出会いでした。

同7月に当法人の事業所を利用する生活保護患者の実態調査報告を発表すべく記者会見を行いました。322人に対する対面調査では深刻な実情が浮かび上がりました。1年間に1度も服を買わない28%、月の教養娯楽費「0円」46%、地域行事に全く参加しない79%と生保受給患者の厳しい生活実態と、自由記載では「生保受けて肩身が狭い」「みじめな気持ちになる」といった

この間のバッシングの影響も垣間見られました。何とか受給している人ですらこの状況ですので、日本の低い捕捉率（恐らく2割以下）を考えると、貧困の拡がり（相対的貧困率16.1%）の中で病気になっても医療機関を受診出来ない人たちがかなり居るのだらうと予測しています。当院も行っている無料低額診療事業の果たす役割が益々大きくなっていると同時に、受療権を守る取り組みを大きく広げていくことが強く求められていると感じています。

さて、当院の事業ですが、経営的には前年以上に辛い1年になりました。医療提供体制の再編（地域医療構想）を更に強く推し進める内容となった2016診療報酬改定は、多くの病院を赤字経営に落とし込むような厳しいものでした。当院は年度前半に苦しい時期を経験し、職員達には多くの苦勞をお願いすることになりましたが、自院の役割を再確認し、基本方針に団結して奮戦することで、何とか年度末黒字を計上することが出来ました。要因は様々でしょうが、一人でも多くの急患を受けるという気構えが強くなったことが大きいと考えています。特に3つの指標（新規入院患者数、DPCI・II期間での退院割合、重症度・医療看護必要度）への拘りを各職場で徹底出来たことが重要で、年間4000件に迫る救急車受け入れとそこからの入院発生、多職種連携で進めた入退院連携など、この間強化してきた仕組みがよりの確に機能してきた手応えを感じています。経営改善に努力した全ての職員、医療生協組合員に感謝申し上げます。

新年度（2017年度）は既にスタートしています。3つの特徴を持った1年になります。1つ目は2つの認証を更新するということです。病院機能評価は5度目、卒後臨床研修評価（JCEP）は3度目の受審となります。個々の認証の大切さについては繰り返しませんが、現時点での当院の実力が評価される大事な機会です。受審への準備そのものが質改善の取り組みになります。2018年春に控えた医療・介護報酬同時改定へ向けた経営的体力の強化が2つ目の特徴です。2025年体制確立への最大の山場の1つです。2016年の教訓を生かして果敢に挑みたいと思います。そして3つ目が当院のリニューアルに向け、本格的な青写真作りをスタートさせる1年になるという特徴です。内容的にも費用規模でも開院以来最大の事業と言えます。正しい情勢分析の下に、ミッション・ビジョンを体現出来るようリニューアルであるべきで、職員と組合員の総力でやり遂げたいと思います。

2016年活動の教訓がしっかり生かされた1年になるよう、この年報を最大限活用して前進することをお約束して巻頭言と致します。

I. 概要

1. 概要

- ◇病床数 一般病床 401 床
(ハイケアユニット 4 床、緩和ケア病床 24 床、回復期リハビリテーション 50 床を含む)
- ◇医師数 71 名 (常勤)
- ◇標榜科 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、リウマチ科、臨床検査科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、救急科、泌尿器科 (人工透析)、緩和ケア外科
- ◇専門外来 甲状腺、被爆、禁煙、在宅医療
- ◇1 日平均外来患者数 1,034.0 人
- ◇1 日平均入院患者数 287.4 人
- ◇指導医数 21 名
- ◇研修医数 10 名 (2016 年 12 月現在)

◆これまでのあゆみ

当院は 1978 年に医療生協立の病院として開院以来、地域住民・組合員の皆様と力を合わせて、一貫して無差別・平等の医療・介護を追求し、より良き社会保障制度の確立に努力してきました。その実践として、当院は開院以来「差額ベッド代無し」を継続しております。加えて、2016 年には埼玉県より無料低額診療事業の認定を受けました。

当院は、地域医療に貢献すべく順次、医療機能の向上に努めてまいりました。1988 年に埼玉県より二次救急指定病院の認定を受け、1998 年に日本医療機能評価機構認定基準「一般病院種別 B」の認定を受けました。2004 年より包括医療費支払い制度 (DPC) に参加するとともに、2013 年には緩和ケア病棟 (24 床) を開設し、2015 年には埼玉県よりがん診療指定病院の認定を受けることができました。2015 年 2 月には産婦人科開設以来の分娩数 24,000 件に到達しています。

2016 年 3 月 WHO-HPH の認定プロジェクトでゴールドレベルの評価をいただきました。

当院の使命として、地域の医療活動を担う医師をはじめとした職員の育成に積極的に取り組んできました。1994 年に厚生労働省より臨床研修指定病院 (基幹型) の認定を受けました。2002 年には ISO 9001 を取得し、病院の管理運営に品質マネジメントシステムの活用を開始しました。

今後も引き続き、住民・組合員と一体となり、医師会や近隣の医療機関・介護施設とも力を合わせて、個人の尊厳が守られるように地域医療の発展のために尽力してまいります。

◆病院の特色

埼玉県南部二次医療圏において、地域から期待される救急医療、がん診療を重点に急性期病院としての機能と質の向上に力を注ぐとともに、WHO（世界保健機関）が認定するHPH（ヘルス・プロモーション・ホスピタル）として患者、地域、職員へ質の高い保健予防活動を築くことを目指しています。

同時に、地域医療を担う人材を育成するために各専門職種の教育プログラムと育成環境の充実を図りつつ、教育研修センター・スキルラボを整備してきました。同時に、自ら定めた臨床指標（Q I：医療の質改善の指標）に沿った取り組みと振り返りをマネジメントシステムとして整備し、さまざまな機能・質の向上と職員育成を一体にすすめています。

病院理念にもとづき、社会保障制度、社会資源の活用につなげることで生活困難な方が必要な治療を適切に受けられるように、総合的なサポートの体制を確立し取り組みを広げています。

2. 理念

人権をまもり、健康なくらしに役立つ医療を、地域とともにつくります。

理念に基づく行動

◆医療が保障される社会づくり

- 個人が尊重され、社会的不平等のない医療・福祉制度の実現をめざします。
- 最大の環境破壊である戦争に反対し、平和と環境をまもります。

◆私たちの医療の目的と姿勢

- すべての人々が、健康に生き、尊厳をもって療養できるよう支援します。
- 利用者によりそい、自律を育み、安全・安心で最適な医療・介護を行います。

◆医療従事者としての成長

- 科学的視点と高い倫理観をもち、医学の成果と社会の進歩に学びます。
- 地域のなかで、育ちあう喜びとやりがいを感じられる職員に成長します。

埼玉協同病院職員の倫理指針

1. 私たち職員は、平和を希求し、生命を尊びます。
2. 私たち職員は、あらゆる差別を排し、分けへだてなく、一人ひとりの患者さまにとって最善の医療が提供できるよう努力します。
3. 私たち職員は、個人情報大切に扱います。知りえた個人情報を決して漏らしません。
4. 私たち職員は、科学の成果に学び、安全で質の高い医療サービス実現のために、協力しあいます。
5. 私たち職員は、常に専門職能を高め研鑽し、自らの職務・使命を誠実に果たします。
6. 私たち職員は、関連諸法規、就業規則等をよく学び、遵守します。不正を働かず、不正を見逃さず、不正を排除します。
7. 私たち職員は、以下の諸文書を常に学び、日々の業務・行動に生かすようつとめます。
 - ①私たちの医療理念（埼玉協同病院）
 - ②基本理念・品質方針・環境方針（医療生協さいたま）
 - ③医療生協の「患者の権利章典」（医療部会）
 - ④全日本民医連綱領（全日本民医連）
 - ⑤日本国憲法

3. 目標

2016年度 埼玉協同病院 BSC

ミッション	救急医療、がん診療を重点に急性期病院としての力を強めるとともに、地域医療を担う人材を育成する。
ビジョン	①救急医療の拡充を図るとともに、がん診療指定病院として一つ上の水準を目指す、あわせて災害拠点病院に準ずる備えをもつ。 ②より総合性と専門性を高め、医療の質の向上と医師養成を一体的に取り組む。 ③健康の社会的阻害要因 (SDH)の視点を日常診療に活かし、ヘルスプロモーションに取り組む。 ④4つのセンターを軸に、チーム医療のレベルアップを図り、職員が学び成長する動きやすい病院となる。

戦略目標	重要成功要因	評価指標	評価指標の定義と算出部門	2015年度現状値	2016年度目標値
強い医療生協を作る視点 (E)	救急車、急患を積極的に受け入れる	①救急車搬入台数/救急車からの入院件数 ②内科的処置が必要な救急患者の数 (看護必要度C項目) ③入院件数/DPC (I) (II) での退院患者割合 ④看護介護必要度25%以上 ⑤手術件数	①経営月報 (経営企画室) /QI 3-2 ①経営月報 (経営企画室) /QI 3-2 ②経営月報 (経営企画室) ③経営月報 (入院医事課) /QI 2-1 ③経営月報 (入院医事課) /QI 2-1 ④経営月報 (入院医事課) ⑤経営月報 (経営企画室)	①3144台 (日当たり8.6台) ②新規指標 ③730人 ④57.5%~68.7% ④新規指標 ⑤200件/月 (参考指標: 全体2448件)	①3650台(日当たり10台) 1277人 (35%) ②新規指標につき第1四半期の結果で決める ③750人以上 ④71%以上④25%以上 ⑤220件/月 (参考指標として各科件数推移を確認する)
利用者の要望の視点 (C)	救急、時間外でも、初期診療を受けることができる	①患者満足度 (医療福祉連) の満足度調査結果 ②健康度への満足度 (情報提供や説明への満足度) ③経済的な問題を抱える患者を支援した数 / 無料低額診療事業を利用した患者数 ④組合員さんから相談されたケース数 ⑤退院支援加算算定数 ⑥C3が地域とのカンファレンスを行った数	①10月の医療福祉生協連アンケート ②院内調査結果 (H P H推進センター) ③MS W月報 ③MS W月報 ④MS W月報 ⑤経営月報 (経営企画室) ⑥産婦人科外来報告	①ー ②72% (サイトビジット集) ③243人 無低3人生保47件 ④124人 ⑤新規指標 ⑥新規指標	①2項目以上の改善 ②2015年度を上回る ③2015年度を上回る ④2015年度を上回る ⑤2015年度を上回る ⑤新規指標につき第1四半期の結果で決める
確かな仕事づくりの視点 (P)	勤務するスタッフが安心して患者を受け入れられる仕組みや体制を作る (チーム力を高める)	①医療チームの回診数 (HCU、ICT、褥瘡、RST、緩和、NST、認知症) ②「健康の決定要因」記載率/介入率 ③退院支援で連携した地域医療機関数 (地域包括ケア病床、在宅診療所) ④療養支援会議の実施数 ⑤予期せぬ再入院率 ⑥診療科別紹介受け入れ数/紹介率、逆紹介率 ⑦クリニカルパス適応症例率 ⑧診療科別クリニカルパス数	①各チーム報告 ②QMセンター (DWH) ③地域連携課月報 ④MS W月報 ⑤QMセンター (DWH) /QI 4-1 ⑥地域連携課月報 ⑦クリニカルパス委員会報告書 /QI 2-1 ⑧クリニカルパス委員会報告書	①HCU: ①ICT: 50回 ①褥瘡: 226人 ①RST: 19回 /660人 ①緩和: ①NST: 39回 /660人 ①認知症: 新規指標 ②喫煙: 42%/32% ②飲酒: 41%/30% ②栄養: 4%/4% ②運動: 29%/1% ③延べ224件 ④248件 ⑤1.9% ⑥QI参照 ⑥紹介率 ⑥逆紹介率 13.9% ⑦41.7% ⑧73個	①感染カンファレンス 50回以上/環境ラウンド50回以上 ①300人 ①19回/3 ①50人 ①700人 ②喫煙: 50%/40% ②飲酒: 50%/40% ②栄養: 10%/10% ②運動: 30%/5% ③延べ250件 ④300件 (月25件) ⑤2015年度を下回る ⑥QI参照 ⑥紹介率 ⑥逆紹介率 ⑦50%以上 ⑧80個
育ちあいの視点 (E)	救急を支える医師、メディカルスタッフを育成する	①「第42回民医連総会方針」、 「病院理念」、 「いのちの章典」 学習会の開催数/参加人数 ②救急医療に関する研修会/参加者数 ③認知症に関する研修会/参加者数 ④各職種の17卒職員確保数	①教育委員会報告 ②救急診療委員会報告 ③認知症ケアチーム報告 ④職種部会、担当管理起案	①全職員対象 ②17講義/398人 ③認知症サポーター 136名 ③新規指標 ④医師 ④看護師/保健師/助産師 ④メディカルスタッフ ④事務総合職	①総会方針 ①病院理念 ①いのちの章典 ②2015年度を上回る ③認知症サポーター 300名超 ③認知症学習会数 3回以上 ④7人 ④各採用枠申請に基づく数 ④各採用枠申請に基づく数
社会貢献の視点	社会情勢を学び、職員一人ひとりが主権者として社会に働きかける 地域との共同で、防災の意識や環境問題への関心を高め住みやすいまちづくりに貢献する	①戦争法廃止の署名数 ②平和や社会保障運動への参加延べ人数 ①地域の他団体や近隣事業所との防災訓練の数 ②被災地支援に派遣した職員の数 ③行政や他団体との懇談数/参加者数 ④環境に優しい取り組みを学び、実践した数 (環境に関する学習数、環境情報記録) ⑤ゴミ排出量/CO2排出量	①SHJ委員会報告 ②SHJ委員会報告 ①防災対策委員会報告 ②管理部把握 ③組合員活動課報告 ④省エネ推進事務局会議報告 ④環境情報記録の提出数 ⑤省エネ推進事務局会議報告 ⑤MS事務局報告	①1441筆 ②延べ451人 ①2回 (若手、広島支援等) ②新規指標 ③1回 20名 ③66枚 ④法律の定める通り ④法律の定める通り	①10000筆 ②延べ850人 ①2015年度を上回る ①2015年度の支援数を越える ② ③全職員1回の受講 ③1部門2枚 80枚程度

ミッション	救急医療、がん診療を重点に急性期病院としての力を強めるとともに、地域医療を担う人材を育成する。
ビジョン	①救急医療の拡充を図るとともに、がん診療指定病院として一つの水準を目指す、あわせて災害拠点病院に準ずる備えをもつ。 ②より総合性と専門性を高め、医療の質の向上と医師養成を一体的に取り組む。 ③健康の社会的阻害要因（SDH）の視点を日常診療に活かし、ヘルスプロモーションに取り組む。 ④4つのセンターを軸に、チーム医療のレベルアップを図り、職員が学び成長する働きやすい病院となる。

	戦略目標	重要成功要因	評価指標	評価指標の定義と算出部門	2015年度現状値	2016年度目標値
強い医療生協を作る視点(F)	がん診療の件数が増える	がん診療指定病院として、診断、治療を的確に行い治療、フォローの患者数を増やす	①がん診断から治療（手術）に至る日数 ②がん治療目的の紹介件数 ②紹介されたが、当院で治療しなかった数 ③がんの手術件数（肺、胃、大腸、乳、肝臓別） ④手術室の活用状況／（稼働率） ⑤がん登録数	①QMセンター（DWH）／QI7-15 ②地域連携課月報／QI7-15 ②地域連携課月報／QI7-15 ③手術室月報 ④手術室月報 ⑤診療情報室月報	①外科：診断8.5日／治療30.3日 ②1076件 ②新規指標 ③肺 ③胃 ③大腸 ③乳 ③肝臓 ④時間内43.6%、370時間17分（2月実績） ⑤900件（1～12月）	①外科：診断8.0日／治療30日 ②1200件（月100件） ②新規指標 ③肺 ③胃 ③大腸 ③乳 ③肝臓 ④第1四半期にて設定する ⑤1000件（1～12月）
利用者の要望の視点(C)	がんについての治療や相談を受けられることができる	住み慣れた地域で、治療を受け、療養・相談ができ、自分で治療を選択できる環境がある	①がん相談窓口の相談件数 ②「がん相談サロン」利用者数 ③がん相談パンフレットが活用されている数 ④がん患者の就労支援数 ⑤がんに係る公開講座開催数 ⑥がん検診数（健診別）／発見率 ⑦5大がん別術後5年生存率	①総合サポートセンター月報 ②総合サポートセンター月報 ③総合サポートセンター月報 ④総合サポートセンター月報 ⑤総合サポートセンター月報 ⑥健康管理課報告 ⑦診療情報室月報	①943件 ②新規指標 ③新規指標 ④新規指標 ⑤新規指標 ⑥ ⑦	①1200件（月100件） ②第1四半期にて設定する ③第1四半期にて設定する ④第1四半期にて設定する ⑤第1四半期にて設定する ⑥ ⑦
確かな仕事づくりの視点(P)	他院との連携でスムーズな治療や療養の継続ができる仕組みを作る	診療科同士の連携により、集団的に治療が検討され、スムーズに展開する仕組みを作る。患者の生活の質を高める治療を展開できる	①がん相談窓口の実施件数 ②入院／外来化学療法の実施件数 ③緩和ケア、皮膚・排泄ケア、乳がん看護、がん化学療法看護認定看護師の相談数 ④術前患者の肥満に対する介入数 ⑤がんとりハビリ ⑥術前の口腔問題への介入数	①がん相談窓口報告書 ②経営月報 ③がん診療委員会報告 ④食養科月報 ⑤リハビリ科月報 ⑥麻酔科外来月報	①乳がん：48回 302人 ①消化器外科：18回 92人 ①消化器内科：18回 27人 ①呼吸器内科：8回 16人 ②入院化学療法 ②外来化学療法 ③緩和ケア：新規指標 ③皮膚・排泄ケア：新規指標 ③乳がん看護：新規指標 ③がん化学療法看護：新規指標 ④新規指標 ⑤新規指標 ⑥新規指標	①乳がん ①消化器外科 ①消化器内科 ①呼吸器内科 ②入院化学療法 ②外来化学療法 ③緩和ケア：新規指標 ③皮膚・排泄ケア：新規指標 ③乳がん看護：新規指標 ③がん化学療法看護：新規指標 ④新規指標 ⑤新規指標 ⑥新規指標
育ちあいの視点(E)	がん診療に対応できる職員集団を作る	がんの集学的治療について全職員が理解し、展開され、がん診療のレベルアップを図る	①看取り、死生観の学習会開催数／参加者数 ②緩和ケアの学習会開催数／参加人数 ③がん診療に携わる職員育成 ④患者面接、指導に関する学習会	①学習企画主管部門決める ②緩和ケアチーム会議報告書 ③がん相談員研修修了者数 ④その他研修参加者数 ⑤学習企画主管部門決める	①新規指標 ②新規指標 ③新規指標 ③新規指標 ④新規指標	①第1四半期にて設定する ②第1四半期にて設定する ③1名 ③第1四半期にて設定する ④第1四半期にて設定する
その他の課題	大規模リニューアルに向けた準備を進める（リニューアルを支える力を充填する）	①検討プロジェクトを作り、会議を開催する ②病院機能評価に向け施設整備を行う ③産婦人科病棟、手術室、救急室、採血室等の施設改修を行う ④病院の魅力伝える広報を展開する	①管理部進捗管理 ②QMセンター進捗管理 ③各担当者との計画遂行 ④広報委員会／拡大管理事務局	①新規指標 ②新規指標 ③新規指標 ④新規指標		

4. 2016年度活動報告・主要行事

(1) 本年度の入職者

4月1日、法人全体の新入職員の入職式を行い、2日間の入職時研修を行った後、4月4日より各事業所に配属となりました。埼玉協同病院には56名の新入職員が配属になりました。医師(初期研修医)6名、薬剤師1名・保健師9名・助産師2名・看護師16名・診療放射線技師3名・臨床検査技師4名・臨床工学技士2名・理学療法士2名・作業療法士3名・管理栄養士1名・社会福祉士2名・事務総合職4名・介護職1名です。

また、既卒の医師2名(消化器内科医、総合診療後期研修医)を迎えるとともに、外部出向研修から麻酔科医師が帰任しました。また、5月には糖尿病専門医資格取得のための研修に6年目の医師が入職しました。7月に呼吸器学会指導医が入職しました。8月から初期研修を当院で再開した研修医が加わり、1年目医師は7名となりました。

(2) 震災支援と災害拠点病院に準ずる備え

4月14日に発生した熊本地震に対して、埼玉協同病院からは、4月中に職員2名(看護師、臨床工学技士)が現地支援に入りました。5月19日には「熊本地震支援報告会」を開催し、現地の様子や支援の取り組みについて報告を聴いて共有しました。被災が激しかった益城町の避難所を訪問し足浴を行った看護師は「町のいたるところで倒壊した家屋の瓦礫が山積みとなっており、戦争が起きたかのようでした。現場を見て被災者の思いを聞き、足浴を行うことができました。濃厚で貴重な体験をさせていただきました」と語っています。当院からは医師3名、看護師4名、臨床工学技士が支援に入りました。職場に呼びかけた義捐金総額618,673円を備蓄食などとともに届けました。

震災発生から5年を超えた東日本への支援活動に

は、今年も「いわて生協・ふれあいサロン」支援ボランティアに毎月取り組みました。埼玉協同病院からは、看護師4人、理学療法士、介護福祉士、放射線技師、臨床検査技師、事務が参加しました。参加者からは「大震災のことがだんだんと風化してしまいそうな雰囲気を感じる」、しかし「仮設住宅生活が5年を超え、当時小さかった子どもが受験を迎えたり住居の問題が山積しており、子を持つ同世代の親としてやるせない思いでした」と報告しています。

今年度も2月に、加須市において福島県双葉町から委託された甲状腺エコー検診を実施しました。予約が61名でキャンセルされた方が7名と年々受診者が減少していますが、受診された方の多くは埼玉での定住を決めて生活されています。以前は泣きながら受診していたお子さん達も大きくなり、6年の時を感じました。3月10日の朝会では、東日本大震災とその後の震災関連で犠牲となられた方々に哀悼の意を表し黙とうを捧げました。

今年度も、前期・後期の総合防災訓練を実施しました。後期は地震による火災を想定し、初期消火活動、患者避難、そして、大規模な災害時に多数の傷病者が来院された場合の対応にあたるためのトリアージ訓練を同時に行い、多数の被災患者の受け入れを想定した臨場感のある訓練となりました。また10月には、川口市北スポーツセンターのグラウンドで行われた神根地区連合町会の防災訓練に、昨年に続き当院の救急診療委員会のメンバー等が参加して救命訓練のブースを担当しました。今年は川口市立北中学校の生徒さんが先生の引率で参加され、総勢500名の参加となりました。

(3) がん診療指定病院(埼玉県指定)

今年度は、乳がん患者ひまわりの会を再開し、隔月で開催してきました。毎回、新しい参加者があり、

「楽しい時間をありがとうございました。同じ経験をした仲間ができて良かったです」との感想をいただいています。緩和ケア病棟においては、入院中のお母様の枕元で娘さんの結婚式が挙行されたり、夏祭り等の催しやイベント食など多彩に行われました。がん相談支援センターでは、がんで治療中の方からの就労に関する相談が増えています。

今年度開催した緩和ケア研修会には、当院からは研修医を中心に医師9名、看護師2名、薬剤師1名が参加したほか、川口市立医療センターからの医師3名を含む外部から6名の参加がありました。講師には、筑波大学附属病院等から3名をお招きしました。院内では「若年がん患者について考える」をテーマに全職種参加の症例検討会を開催しました。

今年度から、緩和ケア地域連携カンファレンスを初めて開催し、年度末に2回目を開催しました。緩和ケア病棟と連携する機会の多い事業所に参加していただき、関わった事例について振り返りながら、当院の緩和ケア病棟に関する質疑応答の中で、今後の連携をより緊密に行う上での交流を深められました。

2月にさいたま市のプラザイーストにおいて、がん診療に関する市民公開講座を開催し、会場いっぱいとなる122名の参加がありました。今回は、消化器がんと乳がんの早期発見と治療についての講演とがん関連の各種認定看護師や管理栄養士による個別相談、乳がん自己チェック体験を実施しました。

3月には、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構との共催で、埼玉協同病院において埼玉乳房超音波技術講習会を開催しました。医師講師4名、技師講師9名、技師補助2名のスタッフのもと、全国から集まった56名（当院から6名）が参加しました。

(4) 救急対応力の向上

今年度は、職員の救急対応力の向上を目的に、各種のトレーニングに取り組みました。6月には腹部救急に関する診療トレーニングコースを開催しました。富山大学を中心とする6名の指導医により、当

院の6名の初期研修医を含む9病院15名の医師が参加しました。当院の5名のスタッフが患者役などで運営に協力をしました。

また、日本内科学会主催の心肺蘇生講習会（JM E C C）を開催しました。埼玉協同病院の医師10名と県内他病院から2名の医師が参加しました。インストラクター等14名の医師が運営指導にあたりました。

職員向けの一次救命処置（B L S : Basic Life Support）講習会を29回連続して開催し、看護師201名、スタッフ122名が受講しました。また、日本救急医学会認定のI C L S講習会を3回開催し、医師6名を含む18名が認定されました。

7月と12月に福井大学医学部付属病院の地域医療推進講座・寺澤秀一教授を招いて、研修医が救急医療の指導を受けたほか、救急医療の講演会、症例検討会を開催しました。

年末年始の数日、直近24時間の救急車受け入れが全県域で最高件数となる等、年間の救急搬入受け入れ件数は2015年度の127%となる3,997件となりました。

(5) HPH（ヘルスプロモーション）

WHO（世界保健機関）が呼びかけている世界保健デー（4月）と世界禁煙デー（5月）に川口市内のショッピングセンターを会場に、健康チェックやスモーカーライザーでの測定を実施しました。

6月、カナダのオタワでHPH国際カンファレンスが開催され、埼玉協同病院から福庭副院長と薬剤師が参加して発表するとともに、2015年度WHOからゴールドレベルと認定されたプロジェクトの取り組みについて特別報告をしました。

10月に開催された第1回日本HPHネットワークのカンファレンスにおいて、当院の保健師が発表した禁煙チームの「職場内禁煙の取り組み」が優秀演題に選ばれました。

今年度から「ココロンエクササイズ」と「いつでもどこでも体操」の普及を始めました。「ココロン

エクササイズ」は有酸素運動と筋力トレーニングを組み合わせたもので、埼玉県立大学佐藤雄二教授に監修いただき、オリジナルのDVDとテキストを作成しました。「いつでもどこでも体操」は、高齢者が道具を使わずにいつでも、どこでも無理なく、ほぼ全身を使って体操できるように、埼玉協同病院のリハビリテーション技術科が考案したオリジナル体操です。また、運動教室インストラクター養成講座に参加した職員39名が、地域の医療生協組合員・支部の運動教室(19会場・251名参加)に出向いて、健康運動の普及に取り組みました。

(6) 子育て支援

今年も、「孫と一緒」広場、小児喘息教室、子育て交流会、帝京大学教育学部の清水玲子教授を講師に「子育てで大切にしたいこと」をテーマにした育児講座などを開催しました。

子ども予防接種週間では、今年も日曜日に予防接種を実施しました。また、産婦人科病棟の助産師を中心に学校などで開催している「命の授業 公開講座」は7講座開催しました。助産師から命の始まり等のお話を聴き、妊婦ジャケットを体験することで、命の大切さについて感じる事ができたようです。

(7) 地域連携

今年度も、市内10の薬局から参加を得て、薬業交流会を開催しました。認定看護師を講師に緩和ケアの学習をするとともに、業務交流を行いました。今年のケアマネ懇談会は、一回目は地域包括支援センター等から33名の参加を得て、医師による疾患学習「脳卒中を在宅で看る」や、SWから「急性期病院の入院から退院までの流れについて」の説明を受け交流をしました。2回目は22事業所から36名が参加し、「地域ケア会議と社会資源」をテーマに報告を受け、交流しました。

33回目を迎えた地域医療懇談会には、これまでで最多の53医療機関(行政機関含む)100名の参加をいただきました。川口市医師会の新谷副会長よ

りご挨拶をいただき、埼玉協同病院の佐野外科医長より手術症例の報告をさせていただきました。

2月23日は「みんなで考える地域包括ケア交流会」が514名の参加で開催されました。医療生協さいたまの県南地域ネットワークが行政や地域包括支援センターなどの協力をいただき準備をすすめてきました。川口市、社会福祉協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会の後援とともに企画の協力をいただきました。当院の増田院長が公開シンポジウムの司会をさせていただきました。

(8) 感染対策

今年度の感染対策の法定研修会は39回開催し、医師の9割が2回受講するなどして、感染対策の基本から標準予防策、抗菌薬の基本などを学びました。

また、当院が開催した地域合同感染カンファレンスには、川口市立医療センター、済生会川口総合病院など10病院から感染対策に取り組んでいる医師、看護師、薬剤師、検査技師など72名が出席いただきました。カンファレンスの前には、病棟などをラウンドして、感染対策の取り組みの状況を実地に確認していただきました。

3月には、亀田総合病院の細川先生をお招きして『感染症』の学習カンファレンスを開催しました。翌日から入職する新1年目の初期研修医7名も参加して、2年目となる研修医7名と医学生1名を含め、15名が5グループに分かれて、NHKの「ドクターG」のように鑑別診断をあげながら、最終診断に至るワークショップ形式の実りの多い学習会となりました。

(9) B型肝炎の救済医療支援

幼少期の集団予防接種等によりB型肝炎ウイルスに感染した方の救済と治療を広げるために、埼玉の弁護士とともに対策チームを立ち上げ取り組みました。特措法が2016年度末を期限としていたため、救済の情報が行き届かず未治療の方も少なくないため、当院として感染患者の掘り起こしと治療、救済

に結びつけるために埼玉弁護士と相談をして、B型肝炎に関する医療講演と「給付金」の相談会を開催しました。3回の医療相談と「給付金」の説明会には計73名が参加し、弁護士への相談あわせて計110名の申請手続きにつながりました。

(10) 未来の医療スタッフを育てる

今年度の「一日医師体験」には36名の高校生が、「看護体験」には4日間で137名の高校生が参加しました。「薬剤師体験」は4日間で11名が参加し、「リハビリ体験」には5日間で11名が参加しました。また、看護学校受験にむけた高校生対象の模擬面接が行われ、52名が参加しました。医学部受験の模擬面接会には11名が参加しました。

11月の川口市立北中学校の「夢わーく体験事業」で1年生6名が、埼玉協同病院で看護師体験のほか、リハビリ、放射線画像診断、検査、食養、ME、保育、総務など多様な病院の仕事を体験していただきました。「協同病院で生まれたので、色々と学べて嬉しかったです。ありがとうございました！」との感想を寄せた生徒さんがいらっしゃいました。県民の日には、高校生の医療体験を受け入れました。4校から28名が参加して、医師体験、看護体験のほか、薬剤科、食養科、検査科、リハビリ科、放射線科、保育所等に分かれて病院の職場を見学しました。

さいたま市立浦和高校で3年生の医学・医療系の進路を希望している高校生むけに開催された医療セミナーに、当院の若手医師と同高校を卒業した看護師（2名）、理学療法士が講師として招かれ、「医療現場で働く」というテーマでお話をしました。

10月に、厚生労働省認定の医師の臨床研修指導医講習会を埼玉協同病院が主催しました。当院の4名の医師とともに、全国各地の病院から25名の医師が受講し、修了証を手に入れました。

(11) 相談受け入れの取り組み

毎年恒例となった東浦和駅前での健康相談会を開催しました。各診療科の医師11名、医学生2名な

ど職員29名が参加して、通勤帰りの方などに呼びかけ、20名の方が相談に立ち寄られました。身体の痛みや不安な症状、眠れないといった相談が多かったようです。

「難民問題について」の学習会を開催し46名が参加しました。講師にはNPO法人難民支援協会の鶴木由美子氏（定住支援部コーディネーター）をお迎えし、シリアの内戦で増え続ける国際的な難民問題と、埼玉県南部地域に暮らすクルド人について、その背景や生活の様子、医療を巡る問題等を学びました。

1月には2回目となる外国人医療相談会を開催し、50名あまりの外国人が参加しました。生活に困窮している外国人の検診、検診結果の説明、要治療者のフォローを実施しているNPO法人北関東医療相談会（通称アミーゴス）に協力をして行いました。医療従事者、通訳、弁護士、社会福祉士など多彩なボランティアが80名近く集まり、当院は健診センターと医療相談の職員が対応しました。

(12) 視察、見学受け入れ

4月に、国際協同組合同盟アジア・太平洋のバルー事務局長が、医療生協さいたまを視察されました。埼玉協同病院では外来を中心に視察し、生協の紹介コーナーで組合員と交流を行いました。バルー事務局長から「なぜ医療福祉生協の活動に参加されているのですか？」と質問された組合員さんは「組合員として活動に参加することで一緒に健康づくりを行う仲間ができる。そのことで孤独にならないから」と答えていました。

今年も厚生労働省の社会・援護局地域福祉課消費生活協同組合業務室から7名の方が、生協視察に来られました。視察された生協はコープみらいと医療生協さいたまで、当生協の事業所としては埼玉協同病院と老健施設みぬまを見学されました。「組合員ボランティアにより手厚いサービスがなされていたこと、マイかるでの取り組みなど生協ならではのサービスが提供されている」といった感想をいただ

きました。

(13) 2016年度に始めた新たな取り組み

- ①毎週水曜日にペインクリニックが始まりました。麻酔科医の体制が充足したことから、新たな診療を上げることができました。
- ②放射線エリアを中心とする改修工事が終了し、2台目の新しい64列CTを導入するとともに、血管撮影装置、X線テレビレントゲン装置、一般撮影装置、骨密度測定装置を順次更新しました。また、小児科外来のトイレの改修工事を行いました。秋には外来の採血センターを新装移設しました。同時に採尿トイレの改修工事とあわせて、より快適な施設をめざして多目的トイレの新設をしました。
- ③「総合案内」の設置と「紹介受付窓口」の新設をしました。よりわかりやすい窓口対応にむけて取り組んでいます。あわせて、外来待ち時間表示モニターを専門内科、産婦人科、泌尿器科に設置しました。
- ④認知症ケアチームと精神科リエゾンチームを立ち上げ、それぞれ定期回診を実施しています。また、薬剤管理に関わる横断的検討チームを立ち上げました。このチームは、病院全体として薬剤の安全管理、適正使用を進めるために、病棟薬剤師業務の薬剤管理機能を高める様々な改善課題を提起し取り組んでいます。
- ⑤日本看護協会が進めるD i N Q Lの活用を開始しました。D i N Q Lは、労働と看護の質向上にむけた客観的なデータ(事実)に基づくマネジメントツールであり、労働と看護の質を評価し、強みと弱みを見える化することで組織を動かすことを目的としています。
- ⑥食養科が、埼玉県から優良特定給食施設として表彰されました。給食の管理運営、喫食者中心の給食への配慮及び改善、栄養指導がよく行われており、施設設備が整備されていること等から川口保健所より推薦されました。

- ⑦病院ホームページを新装するとともに、病院案内パンフレットを全面的にリニューアルしました。この新しいパンフレットにあわせて病院紹介DVDを制作しました。

(14) 2016年度の経営の到達

2016年度の経営の到達は、予算で目指した7千7百万円には及びませんでした。年間累計で5千万円を超える経常剰余を確保することができました。外来収益、健診収益は前年実績、予算を超過しましたが、入院収益は前年実績を1億円以上下回り、予算に2億6千万円ほど不足しました。そのため、事業収益全体としても、前年実績を9千万円下回り、予算に2億4千万円不足しました。一方で事業費用は、前年実績よりも5千万円ほど増加しましたが、予算よりも2億円圧縮できたことで、黒字剰余とできました。

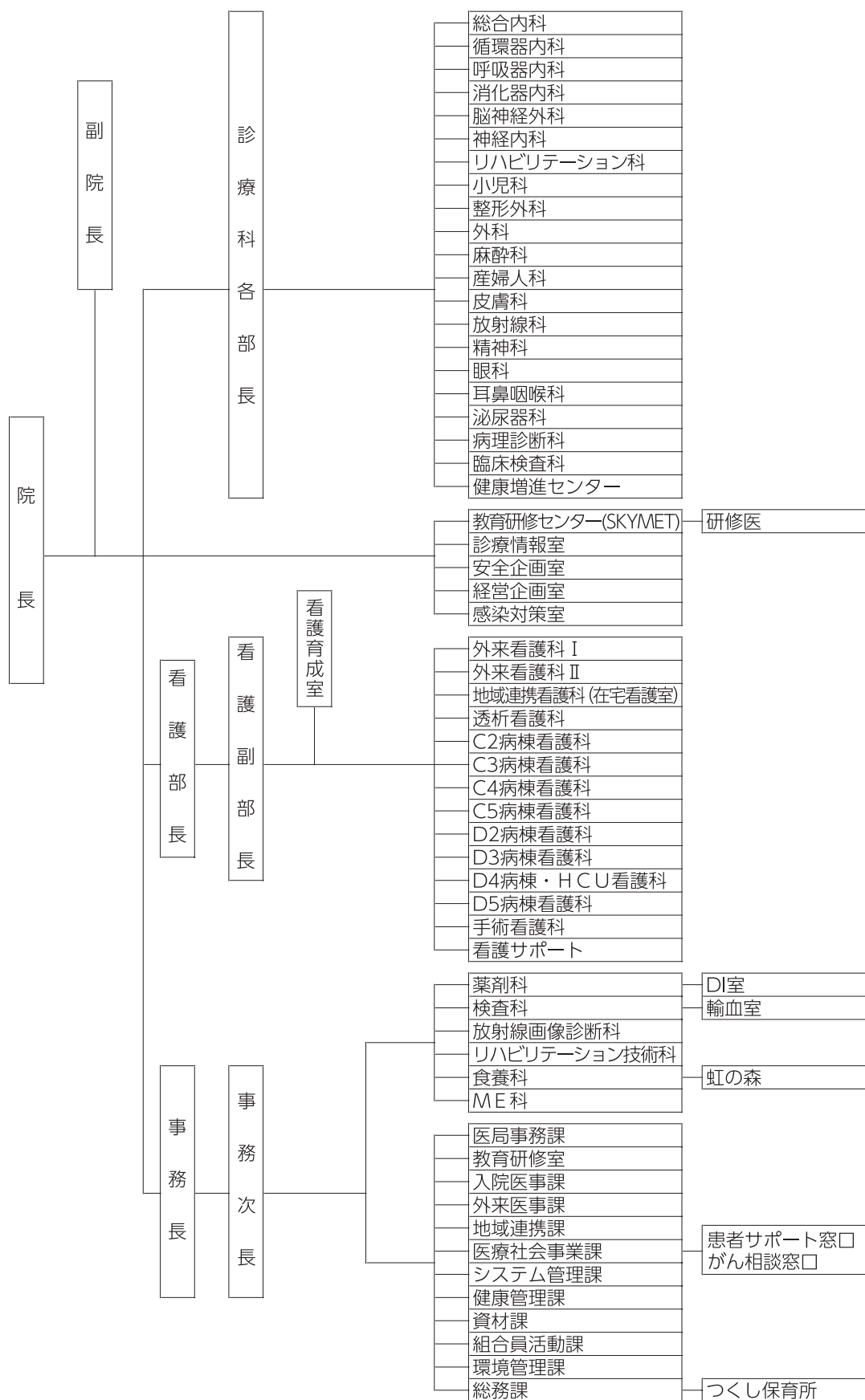
今年度は診療報酬の改定年度であり、その中心的なねらいは7:1入院基本料の重症度、医療・看護必要度の施設基準を15%以上から25%以上に引き上げ、実質的に急性期一般病床の絞り込みにあったと言えます。多くの病院と同様に当院も、病状の安定した入院の早期退院をより意識した結果、在院日数がいっそう短くなることで病床の稼働率の低下を招くことになり、その経営的な影響を受けました。紹介や救急急患の受け入れと手術件数の拡大を進め、入院の件数増を図ることで下半期以後に経営を大きく改善できました。

2016年度 主要行事

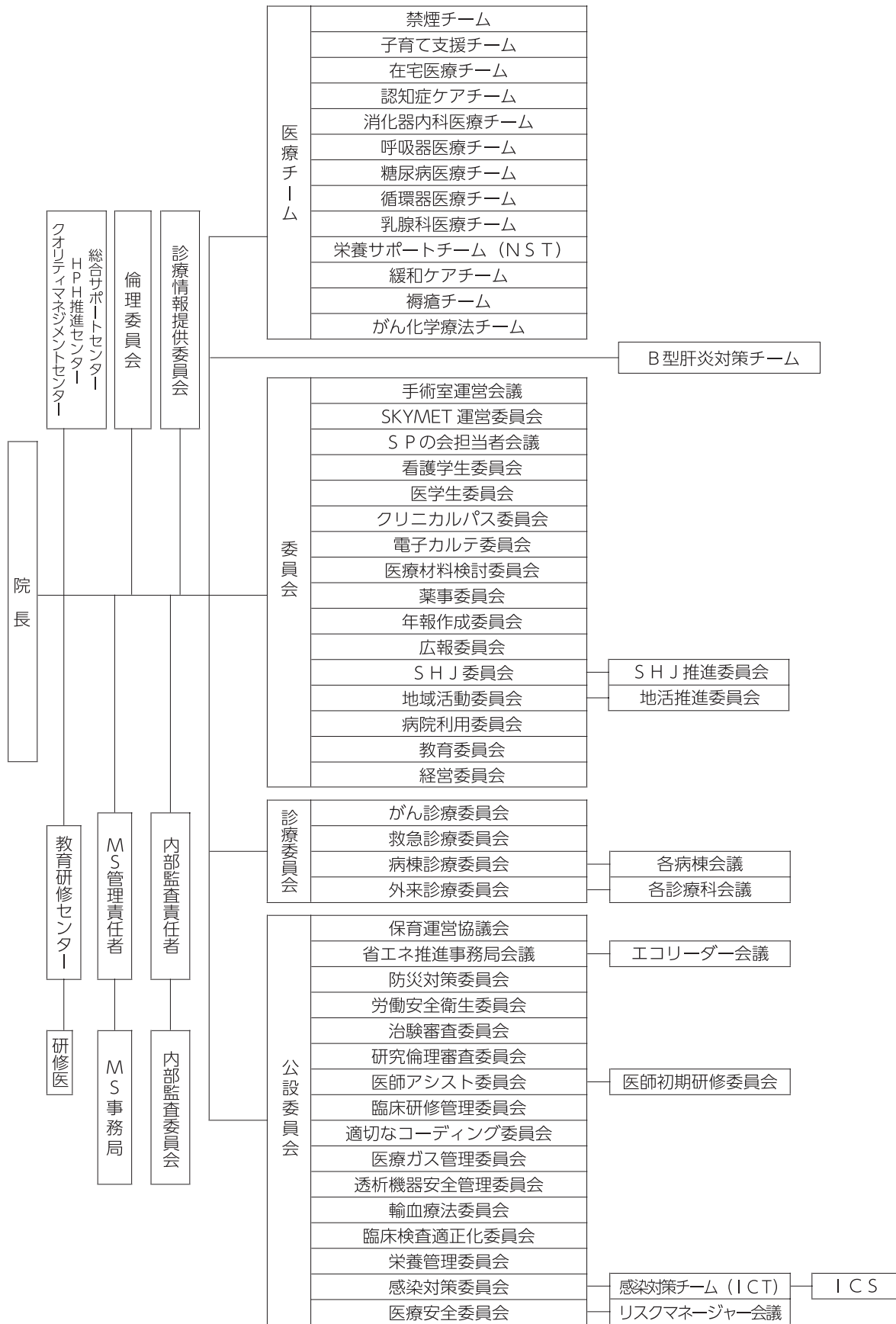
月 日	行 事	月 日	行 事
4月 4日	新入職員オリエンテーション	8月 6日	いのちの授業
6日	WHO世界保健デー		川口たたらまつり
16日	ひとつぶの会総会	8日	駅前健康相談
24日	ウォークフェスタ	9日	高校生一日体験(薬剤) 18日
26日	埼玉県南部地域感染防止対策地域 連携の会「済生会川口総合病院」	20日	T e a m S T E P P S
5月 1日	メーデー集会	27日	ひまわりの会(乳がん) 後期研修説明会
20日	健診スタート集会 内部MS監査員研修会	9月 3日	B型肝炎相談会(共済会館)
31日	WHO世界禁煙デー	7日	埼玉県南部地域感染防止対策地域 連携の会「戸田中央総合病院」
6月 2日	手指衛生AWARDキックオフ集会	9日	厚生局適時調査
16日	済生会川口地域連携の会 内部監査オープニング会議		原水爆禁止世界大会報告会
30日	B型肝炎学習会 脳いきいき教室インストラクター 研修交流会	10日	I C L S 研修会 B型肝炎相談会(ふれあい会館)
7月 1日	無料低額診療事業 埼玉県立入調査	13日	I S O 実地審査
8日	S K Y M E T 講演会 「救急診療トラブル事例の教訓」	21日	前期総合防災訓練
9日	I P W 研修	27日	接遇セミナー
11日	第1回マネジメントレビュー 脳いきいき教室インストラクター 養成講座	29日	透析学習会
14日	がん連携協議会 川口市立医療センター地域連携の会	10月 2日	健康フェスタ in さいたまスーパー アリーナ
21日	内部監査クロージング会議	5日	外来アンケート
23日	癒しのイベント	6日	第33回地域医療懇談会
26日	接遇セミナー	16日	神根連合町会防災訓練
29日	感染防止対策地域個別カンファレ ンス(1回目)	20日	臨床研修医マッチング発表
8月 3日	B L S 研修	24日	手指衛生AWARD
4日	高校生一日体験(看護) 19日、22日	27日	子育て公開講座
		28日	いっどこ体操講習会
		29日	癒しのイベント 臨床研修指導医講習会
		31日	第2回マネジメントレビュー
		11月 8日	「建設基本構想」 骨格プロジェクト
		9日	中学校職場体験
		13日	介護活動交流集会

月 日	行 事	月 日	行 事
11月 14日	A B C Dブロック地域別総代支部 代表者会議	3月 1日	県立小児医療センター連携の会
16日	消防立入検査	2日	緩和ケア地域連携カンファレンス
18日	東部地域別総代支部代表者会議	3日	川口工業総合病院連携の会
19日	緩和ケア研修会	6日	部門リスクマネージャー活動報告 交流集会
22日	接遇セミナー	10日	感染防止対策地域個別カンファレ ンス (2回目)
24日	まちづくり懇談会	11日	I C L S 講習会
25日	埼玉県南部地域感染防止対策地域 連携の会 「川口市立医療センター」	16日	卒1 (技術・事務) 臨床研修発表会
12月 1日	緩和ケア地域連携カンファレンス	18日	埼玉乳房超音波技術講習会
2日	救急カンファレンス (寺澤先生)	25日	つくし保育所お別れ会
3日	腎臓病教室	26日	埼玉民医連県連大会
8日	済生会川口総合病院地域連携の会	27日	第3回マネジメントレビュー
10日	I C L S 講習会	28日	高校生看護体験
15日	卒2臨床研修発表会	31日	感染症カンファレンス (細川先生)
18日	県連第5回学術運動交流集会		
20日	「建設基本構想」 骨格プロジェクト		
28日	忘年会		
1月 6日	内部監査クロージング		
17日	インフォームドコンセント学習会		
19日	トリアージ学習会		
24日	接遇セミナー		
27日	埼玉県南部地域感染防止対策地域 連携の会「埼玉協同病院」		
28日	後期総合防災訓練		
2月 5日	J M E C C 研修会		
16日	Q I 交流会 春の地域別総代・支部代表者会議		
18日	市民公開講座 「がんの早期発見と治療」		
23日	公開シンポジウム 「地域包括ケア交流会」 川口市立医療センター 地域連携の会		
26日	埼玉民医連看護学会		

5. 組織図



6. 委員会等組織図



7. 施設基準

基本診療料の施設基準

一般病棟入院基本料（7：1入院基本料）
 臨床研修病院入院診療加算
 救急医療管理加算
 妊産婦緊急搬送入院加算
 診療録管理体制加算
 医師事務作業補助体制加算（15：1）
 急性期看護補助体制加算（25：1 5割以上）
 看護職員夜間配置加算（16：1）
 療養環境加算
 重症者等療養環境特別加算
 重症皮膚潰瘍管理加算
 がん診療連携拠点病院加算
 栄養サポートチーム加算
 医療安全対策加算1
 感染防止対策加算1（感染防止対策地域連携加算）
 患者サポート体制充実加算
 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 ハイリスク妊娠管理加算
 ハイリスク分娩管理加算
 退院支援加算1
 総合評価加算
 病棟薬剤業務実施加算
 後発医薬品使用体制加算1
 データ提出加算2
 ハイケアユニット入院医療管理料
 回復期リハビリテーション病棟入院料2
 緩和ケア病棟入院料

その他届出

入院時食事療養（I）

特掲診療料の施設基準

糖尿病合併症管理料
 がん性疼痛緩和指導管理料
 がん患者指導管理料1
 がん患者指導管理料2
 小児科外来診療料
 糖尿病透析予防指導管理料
 小児科外来診療料
 院内トリアージ加算
 夜間休日救急搬送医学管理料
 ニコチン依存症管理料
 開放型病院共同指導料
 地域連携診療計画退院時指導料
 がん治療連携指導料
 がん治療連携管理料
 肝炎インターフェロン治療計画料
 薬剤管理指導料
 医療機器安全管理料1
 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者
 訪問看護・指導料
 HPV核酸検出
 検体検査管理加算（I）
 検体検査管理加算（IV）
 コンタクトレンズ検査料1
 小児食物アレルギー負荷付加検査
 センチネルリンパ節生検
 画像診断管理加算1
 画像診断管理加算2
 CT撮影及びMRI撮影
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算1
 無菌製剤処理料
 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
 運動器リハビリテーション料（I）

呼吸器リハビリテーション料 (I)
精神科デイ・ケア「小規模なもの」
透析水水質確保加算2
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)
体外衝撃波胆石破碎術
体外衝撃波膵石破碎術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6
(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む)に掲
げる手術
輸血管理料II
輸血適正使用加算
貯血式自己血輸血管理体制加算
麻酔管理料 (I)
麻酔管理料 (II)
認知症ケア加算2
酸素購入に関する届出書

任意機関施設認定一覧

1. 日本医療機能評価機構認定
2. ISO 9001:2008 /
ISO 14001:2004 登録
3. マンモグラフィ検診施設画像認定
4. 卒後臨床研修評価機構認定
5. 医療被ばく低減施設認定

公的機関施設認定一覧

1. 健康保険 国民健康保険
社会保険 共済組合
2. 母体保護法指定医
3. 指定医療機関 生活保護法
4. 労災保険指定医療機関
5. 労災保険二次健診等給付医療機関
6. 原子爆弾被爆者指定医療機関
7. 未熟児養育医療機関
8. 救急告示病院
9. 指定自立支援医療機関 (精神通院医療)
10. 指定自立支援医療機関 (育成医療・更正医療)
腎臓に関する医療

8. 教育研修指定関係

括弧内は認定日

教育研修指定関係

1. 日本内科学会認定医制度教育病院 (1992.04.01)
2. 日本小児科学会小児科専門医研修施設 (2003.10.01)
3. 日本皮膚科学会認定専門医研修施設 (1993.04.01)
4. 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設 (2006.04.01)
5. 日本外科学会外科専門医制度修練施設 (1988.01.01)
6. 日本整形外科学会専門医制度研修施設 (1989.11.07)
7. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 (1997.04.01)
8. 日本泌尿器科学会専門医教育施設 (2004.04.01)
9. 日本病理学会研修登録施設 (1996.04.01)
10. 日本臨床検査医学会認定病院 (2012.01.01)
11. 日本リハビリテーション医学会研修施設 (2005.09.10)
12. 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設 (2017.04.01)
13. 日本血液学会認定血液研修施設 (2002.04.01)
14. 日本糖尿病学会認定教育施設 (2000.11.27)
15. 日本リウマチ学会教育施設 (2010.09.01)
16. 日本消化器内視鏡学会指導施設 (2006.12.01)
17. 日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設 (2012.05.14)
18. 日本臨床細胞学会認定施設 (2003.09.30)
19. 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設 (2000.12.01)
20. 日本家庭医療学会後期研修プログラム認定 (2009.04.01)
21. 日本がん治療認定医機構認定研修施設 (2010.11.01)
22. 日本胆道学会指導施設 (2014.04.01)
23. 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設 (2015.04.01)
24. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 (2014.04.01)
25. 日本消化器病学会認定施設 (2016.01.01)
26. 日本手外科学会研修施設 (2016.07.01)
27. 日本呼吸器学会認定施設 (2016.12.09)

関連施設

1. 呼吸器外科学会呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度関連施設 (2010.04.01)
2. 日本透析医学会専門医制度教育関連施設 (2010.11.26)
3. 日本乳癌学会認定医専門医制度 関連施設 (2013.01.01)
4. 日本消化器外科学会専門医制度関連施設 (2013.04.01)
5. 日本小児神経学会小児神経専門医研修関連施設 (2014.10.05)
6. 認定輸血検査技師制度指定施設 (2012.04.1)

9. 院内研修会・講演会

院内研修会・講演会一覧表

開催日	学習会名	主催	講師氏名または業者名	参加人数
2016年4月4日	新入職員病院研修「医療安全講習」	教育委員会	医療安全管理者／宮崎俊子（安全企画室課長）	58
2016年4月4日	新入職員病院研修「明日からの実践に活かす感染対策のき・ほ・ん」	教育委員会	感染管理認定看護師／吉田智恵子（看感染対策室）	58
2016年4月4日	新入職員病院研修「ISOについて」	教育委員会	小野秀敏（環境管理課）	58
2016年4月4日	新入職員病院研修「禁煙について」	教育委員会	木村・箭川・小笠原	58
2016年4月13日	日本光電AED取り扱い学習会	ME科	渡邊:日本光電	10
2016年4月15日	サインバルタ学習会	薬剤科	日本イーライリリーMR	14
2016年4月19日、6月18日、6月24日、6月28日、6月24日、7月12日、6月22日、7月1日	患者の問題解決としての医療記録	QMセンター	野田邦子	139
2016年4月26日	人工呼吸器学習会	ME科	藤本政幸（ME科）	20
2016年5月16日、6月8日、8月9日、8月10日、17日	感染防止対策の基本	感染対策委員会・ICT	感染管理認定看護師／吉田智恵子（感染対策室、看護師／吉川奈津美（C2病棟）	158
2016年5月18日、23日、30日	エクセル学習会 第1回	QMセンター	桑田	26
2016年5月22日、5月28日	感染防止対策の基本 その2	感染対策委員会・ICT	臨床検査科部長／村上純子、臨床検査技師／相原雅子、薬剤師／若林純平	25
2016年6月1日	部門リスクマネージャー研修①	医療安全委員会	医療安全管理者／宮崎俊子（安全企画室課長）	30
2016年6月1日	部門リスクマネージャー研修②	医療安全委員会	医療安全管理者／宮崎俊子（安全企画室課長）	30
2016年6月2日	C R E 感染対策	感染対策チーム	臨床検査科部長／村上純子、薬剤師／若林純平、感染管理認定看護師／吉田智恵子（感染対策室）	34
2016年6月9日	研修医向けME機器取り扱い学習会	ME科	木村貴史、斉藤佑介（ME科）	6
2016年6月14日	ゼロダの学習会	薬剤科	中外製薬MR	16
2016年6月21日	歯科衛生士向けME機器学習会	ME科	篠塚陽子（ME科）	2
2016年6月23日	低圧持続吸引器取り扱い	ME科	篠塚陽子（ME科）	11
2016年6月27日	トップ 「胃瘦学習会」	ME科	宮崎（TOP）	15
2016年6月30日	B型肝炎患者フォローのための学習会	B型肝炎対策チーム	B型肝炎東京弁護士事務所局長／菅俊治 弁護士、院長／増田剛、上田（医療社会事業課）、関根（地域連携課）	59
合計6回	MS 内部監査差分研修	法人MS委員会	法人MS 境、江蔵	110

開催日	学習会名	主催	講師氏名または業者名	参加人数
2016年7月1日～9月30日	e-ラーニング「リスクマネジメントをしていくために」	医療安全委員会	e-ラーニング	744
2016年7月6日、7月20日	内視鏡装置取り扱い学習会	ME科	川下 (オリンパスメディカルサイエンス)、上地フジフィルムメディカル	12
2016年7月8日	DVTポンプフロートロン学習会	ME科	カナザワ (村中医療器)	6
2016年7月8日	救急診療トラブル事例の教訓	教育研修センター	福井大学地域医療推進講座教授 / 寺澤秀一	37
2016年7月11日	ジカウイルス感染症 感染対策	感染対策委員会	臨床検査科部長 / 村上純子、感染管理認定看護師 / 吉田智恵子 (感染対策室)	29
2016年7月12日、7月15日	BiPAP取り扱い学習会	ME科	篠塚陽子 (ME科)	11
2016年7月22日、7月26日、7月29日	医療整備学習会	外来医事課	桑田	19
2016年7月28日	AED学習会	ME科	吉田幸司 (ME科)	12
2016年7月29日	2016年度医療会議安全研修会	法人医療介護安全委員会	横山直毅弁護士、小口克巳弁護士、手塚健太郎氏	118 (25)
2016年7月29日、8月9日、9月12日、27日	B型肝炎のはなし	B型肝炎対策チーム	野田邦子	36
2016年8月1日～8月31日	感染防止対策の基本	感染対策委員会・ICT	感染管理認定看護師 / 吉田智恵子 (感染対策室)	
2016年8月2日	スマートポンプ取り扱い学習会	ME科	吉田絵里子 (テルモ株式会社)	18
2016年8月4日	認知症学習会	認知症ケアチーム	荻野マリエ医師	61
2016年8月9日	フクダライフテックAir Sence10学習会	ME科	古閑 (フクダライフテック)	12
2016年8月10日	ジカウイルス感染症 感染対策	感染対策委員会	臨床検査科部長 / 村上純子、感染管理認定看護師 / 吉田智恵子 (感染対策室)	3
	環境マネジメントシステムに関する管理業務力量チェックリスト	MS事務局	指定されたチェックリストで確認	15
	環境マネジメントシステムに関する基本業務力量チェックリスト	MS事務局	指定されたチェックリストで確認	733
2016年8月20日	医療安全ワークショップ「TeamSTEPPS」	医療安全委員会	大生定義 (立教大学社会学部社会科、立教学院診療所)	29
2016年8月23日	スマートポンプ取り扱い学習会	ME科	吉田絵里子 (テルモ株式会社)	10
2016年8月23日	マックグラス・エアウェイスコープ 学習会	ME科	渡邊 (日本光電) 篠原 (コメディエン)	10
2016年9月1日～2017年3月末	認知症サポーター養成講座	認知症ケアチーム	認知症サポーター講師	100
2016年9月5日	Carestation600シリーズ学習会	ME科	田中 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)	7
2016年9月7日	内視鏡PCFスコープ、ガイド取扱い学習会	ME科	川下恵市 (オリンパスメディカルサイエンス)	12
2016年9月8日	カフアシスト取り扱い学習会	ME科	草間 (フィリップスレスピロニクス合同会社)	20
2016年9月10日、9月22日、10月14日	エコーガイド穿刺	ME科	原島貴彦	12

開催日	学会名	主催	講師氏名または業者名	参加人数
2016年9月19日	ACT測定学習会	ME科	斉藤佑介	5
2016年9月30日	Aライン 学習会	ME科	吉田幸司 (ME科)	17
2016年10月	個人情報保護教育	MS事務局	e-ラーニング	620
2016年10月6日	血液透析の原理 透析の治療法	ME科	菅 隆太	14
2016年10月1日～31日	職場のパワーハラスメントを考える	本部労働安全衛生委員会	職責	
2016年10月17日、10月21日、10月24日	エクセル学習会 第2回	QMセンター	桑田、飯塚	3
2016年10月17日	リスクマネジメントをしていくために (補講)	医療安全委員会		48
2016年10月19日	ASTRAL学習会	ME科	桐生宣侑	13
2016年10月20日	CART学習会	ME科	東内 (旭化成メディカル)	21
2016年10月24日	手指衛生AWARD (学習会・報告会)	感染対策委員会・ICT	感染管理認定看護師/吉田智恵子 (感染対策室)、ICT	94
2016年10月25日	ブラッドボリューム計 学習会	ME科	菅 隆太	6
2016年10月29日～10月30日	第8回埼玉協同病院 臨床研修指導医講習会	教育研修センター	忍哲也、雪田慎二、田中宏昌、村上純子 (埼玉協同病院) / 関口由紀公 (さいわい診療所)、小堀勝充 (熊谷生協診療所) / 北村聖 (国際医療福祉大学) / 黒沢祥浩 (上尾中央総合病院) / 横江正道 (名古屋第二赤十字病院)	25 (21)
2016年10月30日	認知症学習会 (リハ、薬剤)	認知症ケアチーム	倉川 (OT)、稲川 (薬剤)	22
2016年11月1日、7日	ネーザルハイフローの取り扱いについて (F&P)	ME科	11月1日 木内 (F&P) 11月7日 藤本政幸 (ME科)	20
2016年11月4日	C5常設除細動器学習会	ME科	桐生宣侑 (ME科)	10
2016年11月7日、11月10日	N95微粒子用マスクフィットテスト・学習	感染対策チーム	感染管理認定看護師/吉田智恵子 (感染対策室)	19
2016年11月9日	NPPVの基本とV60ベンチレーターの使用法	ME科	斉藤祐介 (ME科)	5
2016年11月14日、11月24日、11月30日	感染防止対策の基本 その2 ～細菌検査・抗菌薬編～	感染対策委員会・ICT	相原雅子 (検査科)、若林純平 (薬剤科) 大塚友梨 (検査科)、柴田敬介 (薬剤科)	76
2016年11月17日	職場のセクシャルハラスメントを考える	本部労働安全衛生委員会	職責	273
2016年11月18日	内視鏡スコープ ベッドサイド洗浄	ME科	川下 (オリンパス) 上地 (フジフィルム)	11
2016年11月21日	冬期に流行する感染症 インフルエンザ・ノロウイルス	感染対策委員会・ICT	柴田敬介 (薬剤科)、感染管理認定看護師/吉田智恵子 (感染対策室)	48
2016年11月23日、11月25日	ネーザルハイフローの取り扱いについて (F&P)	ME科	木内 (F&P)	10
2016年12月1日	ネーザルハイフローの取り扱いについて (パシフィックメディコ)	ME科	服部孝志 (パシフィックメディコ)	10
2016年12月2日	ネーザルハイフローの取り扱いについて (日本メディカルネクスト)	ME科	浅井 (日本メディカルネクスト)	5

開催日	学習会名	主催	講師氏名または業者名	参加人数
2016年12月2日	寺澤秀一先生のER指導&カンファレンス	教育研修センター	福井大学地域医療推進講座教授/ 寺澤秀一	12
2016年12月7日	冬期に流行する感染症 インフルエンザ・ノロウイルス	感染対策委員会・ICT	感染管理認定看護師/吉田智恵子 (感染対策室)、柴田敬介(薬剤科)	384
2016年12月20日	2016年度 臨時学習会 感染対策室インフルエンザ 感染対策	感染対策室	感染管理認定看護師/吉田智恵子 (感染対策室)	18
2016年12月23日	ポータブル型酸素濃縮器取り扱い学習会	ME科	近藤(常人)	6
2016年12月24日	ケアステーション立ち上げ方法学習会	ME科	篠塚陽子	12
2017年1月1日~ 3月末まで	暴言暴力の対応について学ぶ	医療安全委員会	e-ラーニング	751
2017年1月23日	医薬品・医療機器体験学習会	ME科・薬剤科	桐生宣侑・斉藤佑介	24
2017年2月27日	除細動器学習会	ME科	桐生宣侑 (ME科)	13
2017年2月28日	On Line HDF学習会	ME科	南 優花 (ME科)	6
2017年3月	環境教育	MS事務局	e-ラーニング	626
2017年3月6日、 3月8日	感染防止対策の基本と実践 (2016年度フォロー)	感染対策委員会	感染管理認定看護師/吉田智恵子 (感染対策室)	27
2017年3月17日	除細動器学習会	ME科	桐生宣侑 (ME科)	12
2017年3月31日	感染症ケースカンファレンス	教育研修センター	亀田総合病院総合診療・感染症科、 IDATEN (日本感染症教育研究会) 世話人/細川直登	12

10. 2016年度初期研修医の状況

1. スタッフ

2015年4月入職

河野 友絵 (大分大学卒)

比留間晴彦 (近畿大学卒)

2016年4月入職

尾内 綾 (聖マリアンナ医科大学卒)

竹内 洋 (杏林大学卒)

松原 浩太 (群馬大学卒)

松村 憲浩 (聖マリアンナ医科大学卒)

山田 明子 (埼玉医科大学卒)

頼高多久也 (熊本大学卒)

2016年8月入職

石濱智奈美 (日本医科大学卒)

2. 研修ローテーション

2016年4月～2017年3月 ローテート

◆1年目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
尾内 綾		C5 (呼吸器内科)			D4 (総合内科)		C2 (消化器内科)		精神	麻酔	救急	みさと
		導入期							選択			選択
竹内 洋		C2 (消化器内科)			D4 (総合内科)		C5 (呼吸器内科)		救急	熊谷	麻酔	
		導入期										選択
松原 浩太		D4 (総合内科)			C5 (呼吸器内科)		C2 (消化器内科)		麻酔	外科		救急
		導入期										
松村 憲浩		C2 (消化器内科)			C5 (呼吸器内科)		D4 (総合内科)		救急		大井	
		導入期										選択
山田 明子		D4 (総合内科)			C2 (消化器内科)		C5 (呼吸器内科)		産婦		精神	小児
		導入期								選択	選択	
頼高 多久也		C5 (呼吸器内科)			C2 (消化器内科)		D4 (総合内科)		小児		C2 (消化器内科)	
		導入期										選択
石濱 智奈美					C5 (呼吸器内科)			D4 (総合内科)		C2 (消化器内科)		

◆2年目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
河野 友絵	精神	C2 (消化器内科)		大井	麻酔	外科		熊谷	整形	小児		
	選択	選択		選択				選択	選択			
比留間 晴彦	救急	C5 (呼吸器内科)		精神	大井	産婦	熊谷	D4 (総合内科)	小児	D5 (回復期リハ)		内科 (検査)
	選択	選択		選択			選択	選択		選択		選択
李 強	D4 (総合内科)		大井	救急	産婦	小児		内科 (検査)				
								選択				

3. 学会発表

- 河野友絵、原澤慶次、村上純子
「当院におけるレジオネラ肺炎 17 例の臨床的特徴」
第 53 回埼玉県医学会総会 埼玉 2016 年 2 月 28 日
- 河野友絵、原澤慶次、村上純子
「市中急性期病院におけるレジオネラ肺炎 17 例の臨床的特徴の検討」
第 113 回日本内科学会総会・講演会 東京 2016 年 4 月 16 日
- 河野友絵、田中宏昌、村上純子
「地域急性期病院で貧困問題と高齢者医療を考える」
第 113 回日本内科学会総会・講演会 東京 2016 年 4 月 16 日
- 比留間晴彦、土佐素史、河野友絵、佐藤雄一、肥田 徹、忍 哲也
「進行性認知症を契機に遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病と診断した 80 歳男性例」
第 10 回川口市医学会総会 埼玉 2016 年 5 月 28 日
- 松村憲浩、田中宏昌
「感染性心内膜炎を合併した *Fusobacterium sp.* による細菌性肝膿瘍の 1 例」
第 626 回日本内科学会関東地方会 東京 2016 年 9 月 10 日
- 比留間晴彦、土佐素史、河野友絵、佐藤雄一、肥田 徹、忍 哲也
「進行性認知症を契機に遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病と診断した 79 歳男性例」
第 627 回日本内科学会関東地方会 東京 2016 年 10 月 8 日

4. 院内での研修/学習会への参加

(1) レジデントカンファレンス (偶数週金曜日 17:30 - 18:30)

初期研修に関する意見交換や初期研修委員会への要望提出、各種学習会の開催を主な目的として、初期研修医 9 名でカンファレンスを隔週で開催しました。学習会の開催にあたっては、初期研修医間での学習会はもとより、指導医や他職種、更には他院の研修医にも幅広く依頼をかけ、日々の診療に必要な知識・技能の習得に取り組みました。

①主な議題：

「手技の経験数不足の打開策について」「内科研修期間について」「外来研修および E R 研修、当直研修の開始時期について」「研修指導体制について」「退院時要約の作成の迅速・適正化について」

②初期研修医での学習会：

「プレゼンテーションの仕方」「診療情報提供書の書き方」「血液ガス分析の読み方」「主訴から考える臨床推論」「シミュレータを用いた中心静脈カテーテル挿入の練習」

③指導医による学習会：守谷医師「必要時指示薬の処方について」

④他職種による学習会：食養科「各食種の違いについて」、リハビリテーション技術科「リハビリオーダーについて」

⑤その他：他院(長野中央病院、東葛病院等)からの外部研修中の初期研修医にも参加を呼びかけ、学習会の開催や初期研修にあたっての意見交換を行いました。

(2) 青年医師の会 (第2金曜日 17:30 - 19:00)

10年目以下の医師を対象としている「青年医師の会」へ初期研修医も参加し、種々の学習会へ積極的に参加することで知識・技能の向上を図りました。

主な学習内容：

「人工呼吸器について」「糖尿病の病棟管理について」「急性期脳血管疾患の診断と治療、病棟管理について」

「中心静脈カテーテルの挿入手技」「上部消化管内視鏡検査の実践」「外用薬の特徴と適応について」

(3) 救急カンファレンス (毎週火曜日 7:00 - 8:00)

主に初期研修医が経験した外来症例について、様々な診療科から指導医の意見をいただき、他の初期研修医と症例共有を行いました。

(4) 教育研修室 (SKYMET) 主催の各種学習会

2016年6月11日	第7回腹部救急診療トレーニングコース	尾内 綾
		竹内 洋
		松原 浩太
		松村 憲浩
		山田 明子
		頼高多久也
2016年11月19・20日	緩和ケア研修会	河野 友絵
		比留間晴彦
		尾内 綾
		松原 浩太
		松村 憲浩
		山田 明子
		頼高多久也
2016年12月10日	第2回埼玉協同病院ICLSコース	竹内 洋
		松村 憲浩

5. 研修修了発表会

2017年3月23日、ふれあい会館にて、2016年度で初期研修を修了された河野医師、比留間医師の研修修了発表会が開催されました。2年間の初期研修期間について振り返り、指導医の先生方や多職種の方々への感謝が述べられ、1年目研修医への激励がなされました。

11. 社会貢献活動

村上純子 医師	公益財団法人 日本骨髄バンク 調整医師 埼玉県合同輸血療法委員会 世話人 公益財団法人 黒住医学研究所振興財団 評議員
小林真弓 臨床検査技師	埼玉県合同輸血療法委員会 埼玉県臨床検査技師会 輸血検査研究班
金泉恵美子 臨床検査技師	埼玉県臨床検査技師会 病理検査研究班
三升畑菜穂 臨床検査技師	埼玉県臨床検査技師会 細胞検査研究班
丸山新人 管理栄養士	埼玉県栄養士会 理事
吉田昭子 管理栄養士	埼玉県栄養士会 医療部 運営委員 川口保健所管内給食研究会 理事
C3産婦人科病棟	①命の授業への講師派遣 (計7回) 十二月田小学校、夏休み公開講座、幸手子ども保健教室、北中夢ワーク、 松伏第二小学校、樺松中学校、しいのみ保育園 ②NCP R (新生児蘇生法) 講師派遣 (石川幸恵・清水亜希子) 2015年 アップデート講習会2回 アップデート講習会 スキルアップコース Bコース ③自己血輸血勉強会講師派遣 (清水美奈) 埼玉輸血セミナー所沢会場 (所沢ミューズ) 講師、所沢第一病院・勉強会講師 (2回)、 山王クリニック・勉強会講師、埼玉東部循環器病院・勉強会講師
草野賢次 医師 浅沼陽子 看護師	熊本震災支援 熊本民医連 くわみず病院 5月11日~18日
竹本耕造 社会福祉士	公益社団法人埼玉県医療社会事業協会理事 平成28年度彩の国安心セーフティネット事業担当相談員養成研修講師 主催：埼玉県社会福祉協議会 参加90名程 6月21日
長澤孝明 看護師	熊本震災支援 熊本民医連 くわみず病院 6月24日~30日
医師・看護師・理学療法士	高校生医療セミナー「医療従事者の資質」と「医療現場で働く」 さいたま市立浦和高校 (7月7日)
埼玉協同病院医局	東浦和駅前無料相談会 8月8日
B型肝炎対策チーム	医療講演と「給付金」の無料相談会 9月3日17名参加、9月10日44名参加、1月28日13名参加
作業療法士	高校生医療セミナー「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の仕事について」 川口市立川口高校 (10月28日)
検査科	骨密度・血管年齢の測定 (大塚友梨、榎本美由、小島史子、吉本奈津子) 「検査と健康展」浦和コルソ 主催：埼玉臨床検査技師会 参加400名 11月12日
小野塚良輔 医師	熊本震災支援 熊本民医連 くわみず病院 11月21日~24日
藤田泰幸 医師	「子どもたちの心を元気にしよう」 川口市立木曾呂小学校第3回学校保健委員会 (1月28日)

医療生協支部班会職員派遣一覧

開催日	班会テーマ	主催	講演者	参加人数
2016年4月7日	2016年WHO世界保健デー	南部地区	看護師	250
2016年4月12日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	20
2016年4月24日	健康相談 救護	ウオークフェスタ	看護師	130
2016年4月26日	ストレッチセラバンド	鳩ヶ谷中央支部	理学療法士	
2016年4月27日	白ゆり班会、便潜血チェック判定とお話し	柳崎支部	看護師	8
2016年5月2日	運動と健康作り	戸塚支部	理学療法士	
2016年5月10日	イオン4支部合同まちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	24
2016年5月13日	いつでもどこでも体操	谷原2丁目サロン会(老人会)	理学療法士	
2016年5月16日	保健教室 「食べ物と健康」	ふれあい戸塚	管理栄養士	14
2016年5月19日	退院後の運動について	ひざっこの会(患者会)	理学療法士	
2016年5月21日	室内でできる体操	患者会のつどい	理学療法士	
2016年5月30日	減塩調理実習	ふれあい戸塚	調理師	18
2016年5月30日	いつでもどこでも体操	大宮地区支部長会議	理学療法士	
2016年5月31日	2016年世界禁煙デー	南部	看護師	250
2016年5月31日	健康診断結果返し班会	東部 草加支部	看護師	16
2016年6月4日	更年期の話	おおみや診療所地区	看護師	
2016年6月6日	減塩調理実習	久喜支部	調理師	16
2016年6月8日	いつでもどこでも体操	木曾呂東内野支部	理学療法士	
2016年6月8日	班交流会で認知症の学習会	東川口支部	看護師	
2016年6月13日	保健教室 「食べ物と健康」	白岡支部	管理栄養士	10
2016年6月14日	4支部合同まちかど健康チェックinイオン前川	伊刈芝支部	看護師	30
2016年6月15日	減塩調理実習	鳩ヶ谷桜町支部	調理師	8
2016年6月15日	肺炎など感染症の予防と歯磨きについて	A Bブロック保健委員長会議	歯科衛生士	
2016年6月17日	減塩学習会	道合神戸支部	管理栄養士	7
2016年6月17日	班交流集会で認知症の学習をお願いします	新郷支部	看護師	20
2016年6月18日	減塩学習会	大宮南支部	管理栄養士	13
2016年6月20日	脳いき結果返し班会	安行支部	看護師	5
2016年6月20日	脳いき結果返し班会(時間変更連絡済)	東川口支部	看護師	20
2016年6月20日	認知症や終末期医療などの高齢期に関する学習会	戸塚中央	看護師	
2016年6月23日	1歳半の子どもの口腔ケア方法	わいわいサークルチョコバナナ	歯科衛生士	
2016年6月23日	脳いきいき結果返し	八潮支部	看護師	10
2016年6月24日	減塩学習会	栗橋支部	管理栄養士	24
2016年7月2日	減塩調理実習	鳩ヶ谷支部	調理師	13
2016年7月5日	男女参画七夕フェスタ パルテ健康相談	越谷支部	看護師	
2016年7月12日	インナーマッスルを鍛える体操	南平支部	理学療法士	
2016年7月12日	イオン4支部合同まちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	25
2016年7月13日	セラバンド	上青木支部	作業療法士	
2016年7月20日	いつでもどこでも体操	A Bブロック保健委員長会議	理学療法士	
2016年7月21日	減塩調理実習	西川口第一支部	調理師	24
2016年7月21日	ボランティア学校	浦和民主診療所	作業療法士	
2016年7月22日	いつでもどこでも体操	芝南支部	作業療法士	
2016年7月25日	減塩学習会	南平支部	管理栄養士	19
2016年7月28日	室内でできる体操	あしの会(患者会)	理学療法士	
2016年8月3日	バランス食について	精神科デイケア	管理栄養士	11
2016年8月8日	減塩調理実習	蕨塚越支部	調理師	21
2016年8月9日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	21
2016年8月25日	骨と筋肉について	D2病棟H P H	管理栄養士	24
2016年8月29日	命の授業	学童クラブ銀杏の木	助産師、看護師	60
2016年9月5日	セラバンド	吉川支部	理学療法士	

開催日	班会テーマ	主催	講演者	参加人数
2016年9月12日	幼児食について	差間支部	管理栄養士	15
2016年9月13日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
2016年9月16日	いつでもどこでも体操	芝南支部健康まつり	理学療法士	
2016年9月23日	いつでもどこでも体操	Cブロック保健委員長会議	理学療法士	
2016年9月28日	運動教室	芝西支部	理学療法士	
2016年9月28日	運動教室	芝西支部	看護師	15
2016年9月29日	減塩学習会	さいたまAブロック	管理栄養士	25
2016年9月29日	いつでもどこでも体操	Dブロック保健委員長会議	理学療法士	
2016年10月1日	いつでもどこでも体操	根岸支部	理学療法士	
2016年10月2日	平和まつり	鳩ヶ谷中央支部	看護師	30
2016年10月3日	糖尿病の学習会	戸塚南支部	看護師	4
2016年10月11日	イオン健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
2016年10月13日	高血圧、すこしお生活、運動	根岸支部	看護師	40
2016年10月14日	運動教室インスト	神根東支部	看護師	20
2016年10月16日	健康講座 (減塩)	鳩ヶ谷南支部	管理栄養士	60
2016年10月16日	支部祭りでの健康相談	鳩ヶ谷	看護師	20
2016年10月20日	運動教室	戸塚南・戸塚中央支部	看護師	20
2016年10月21日	健康講座 (減塩)	源左衛門支部	管理栄養士	30
2016年10月21日	市民公開講座「高血圧の話し」	源左衛門新田支部	看護師	60
2016年10月21日	運動教室	安行慈林支部	看護師	15
2016年10月22日	いつでもどこでも体操	大宮地区支部健康まつり	理学療法士	
2016年10月23日	運動教室	わし宮支部	作業療法士	
2016年10月24日	運動と健康作り	東川口支部	理学療法士	
2016年10月27日	健康講座 (減塩)	伊刈芝支部	管理栄養士	40
2016年10月28日	いつでもどこでも体操インストラクター養成講座	A Bブロック保健委員長会議	理学療法士	
2016年10月29日	健康祭り 健康相談	鳩ヶ谷中央支部	看護師	50
2016年11月2日	運動教室	松伏支部	看護師	30
2016年11月4日	健康祭りでの健康相談	戸塚南支部	看護師	60
2016年11月5日	公民館まつりでの健康相談	鳩ヶ谷中央支部	看護師	15
2016年11月6日	支部健康まつり、健康相談	八潮市部	看護師	80
2016年11月7日	終末期のがんについて	戸塚南支部	看護師	6
2016年11月8日	いつでもどこでも体操	芝南支部健康まつり	理学療法士	
2016年11月8日	イオンまちかど健康デー	伊刈芝支部	看護師	30
2016年11月11日	いつでもどこでも体操	庄和支部	作業療法士	
2016年11月13日	まつりで公開講座 (糖尿病について)	道合神戸支部	看護師	30
2016年11月15日	いつでもどこでも体操	南平支部健康まつり	理学療法士	
2016年11月15日	運動教室インストラクター	春日部北支部	看護師	15
2016年11月16日	認知症の話し	保健委員長会議	看護師	22
2016年11月17日	減塩調理実習	鳩ヶ谷中央支部	調理師	13
2016年11月17日	運動教室インストラクター	根岸支部	看護師	20
2016年11月18日	運動教室インストラクター	三室支部	看護師	20
2016年11月20日	市民祭りに参加、介護医療相談コーナー	吉川支部	看護師	120
2016年11月21日	健康講座 (食事と健康)	戸塚中央支部	管理栄養士	20
2016年11月22日	健康講座 (脂質異常症の話し)	柳崎支部	管理栄養士	36
2016年11月22日	市民公開健康講座「脂質異常の話し」	柳崎支部	看護師	15
2016年11月23日	市民公開健康講座「乳がんの話し」	木曾呂東内野支部	看護師	15
2016年11月24日	脳いきいき結果返し	岩槻東支部	看護師	6
2016年11月24日	脳トレ 健康講話	草加市部	看護師	40
2016年11月27日	脳いきいき結果返し	岩槻支部	看護師	20
2016年11月29日	ストレッチを中心とした体操	越谷支部	理学療法士	
2016年12月10日	健康まつりでの健康相談	戸塚中央支部	看護師	60

開催日	班会テーマ	主催	講演者	参加人数
2016年12月10日	終末期の過ごし方	戸塚中央支部	看護師	60
2016年12月12日	運動教室ｲﾝｽﾄ	道合神戸支部	看護師	20
2016年12月13日	ｲﾝﾏﾁｶﾞﾄﾞ健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
2016年12月19日	減塩調理実習	Bブロックつながりプランナー	調理師	19
2016年12月23日	クリスマスのヘルシー料理	埼玉土健主婦の会	管理栄養士	25
2017年1月7日	脳いきいき教室	根岸支部	看護師	4
2017年1月10日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
2017年1月12日	公開健康講座（高血圧の話）	芝西支部	看護師	15
2017年1月17日	健診結果返し班会	芝西支部	看護師	10
2017年1月19日	転ばない体操（いつでもどこでも体操）	草加支部	理学療法士	
2017年1月24日	運動教室ｲﾝｽﾄ	鳩ヶ谷桜町支部	看護師	20
2017年1月26日	適正体重を維持するために	あしの会	管理栄養士	35
2017年1月30日	いつでもどこでも体操	安行慈林支部	理学療法士	
2017年2月1日	終活について（班交流会の学習会）	松伏支部	看護師	
2017年2月2日	ロコモについて	桶川支部	理学療法士	
2017年2月3日	いつでもどこでも体操と運動継続の意義	春日部東支部	理学療法士	
2017年2月6日	運動教室	木曾呂東内野支部	理学療法士	
2017年2月7日	医療懇談会	鳩ヶ谷里支部	看護師	42
2017年2月14日	減塩調理実習	上青木支部	調理師	22
2017年2月14日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
2017年2月15日	血糖測定と糖尿病のお話し	保健委員長会議	看護師	14
2017年2月20日	高齢期の終末期	東川口支部	看護師	16
2017年2月21日	減塩調理実習	与野支部	管理栄養士	15
2017年2月21日	嚥下訓練の実際	ケアマネ懇談会	言語聴覚士	
2017年2月22日	健診結果返し	鳩ヶ谷桜町支部	看護師	10
2017年2月23日	ひなまつり献立 料理教室	埼玉土健主婦の会	管理栄養士	20
2017年2月23日	減塩調理実習	鷺宮支部	調理師	16
2017年2月24日	運動教室ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	三郷支部	看護師	15
2017年2月24日	脳いきいき班会	差間支部	看護師	10
2017年2月25日	いつでもどこでも体操	中青木支部	作業療法士	
2017年2月26日	健康教室	八潮支部	管理栄養士	50
2017年2月28日	白ゆり班会（便チェック、大腸がんの話）	柳崎支部	看護師	6
2017年3月7日	子どもの予防注射のお話し	木曾呂東内野支部	看護師	14
2017年3月9日	運動教室	伊刈芝支部	管理栄養士・看護師	20
2017年3月11日	セラバンド	三郷支部	作業療法士	
2017年3月14日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
2017年3月16日	虫歯菌チェックと歯の健康	あしの会（患者会）	歯科衛生士	
2017年3月16日	総会での健康講座（糖尿病について）	芝西支部	看護師	10
2017年3月19日	運動教室	伊刈芝支部	管理栄養士	12
2017年3月22日	減塩調理実習	県央地区	調理師	12
2017年3月24日	健康講座（脂質異常症の話し）	源左衛門支部	管理栄養士	20
2017年3月24日	いつでもどこでも体操	安行支部	作業療法士	
2017年3月24日	いつでもどこでも体操の講習会	安行支部	看護師	30
2017年3月25日	減塩調理実習	北本支部	調理師	28
2017年3月26日	総会、便チェック判定と大腸がんの話	道合神戸支部	看護師	15
2017年3月28日	いつでもどこでも体操	岩槻西支部	理学療法士	
2017年3月28日	いつでもどこでも体操	越谷支部	理学療法士	
2017年3月28日	糖尿病の話	芝北支部	看護師	39
2017年3月28日	フレイルの話、フレイルチェック、フレイル予防体操を2～3紹介	芝南支部	看護助手	28
2017年3月28日	うたごえカフェやはた①回目、健康体操等	草加支部	看護師	参加者大勢 介護相談0人
2017年3月30日	総会、健康講座としてがんの話し	根岸支部	看護師	30名
2017年3月31日	健康講座（脂質異常症の話し）	越谷支部	管理栄養士	51

12. 外部向け教室・講座、医療懇談会、交流会

外部向け教室・講座一覧

開催日	研修会・講演会名	主催	講演者	参加人数
2016年4月7日	WHO世界保健デー 川口Ario	HPH推進センター	看護師	176名
2016年4月7日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	2組4名
2016年4月21日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	2組4名
2016年5月13日	「ベビーマッサージ」	小児科	看護師	7組14名
2016年5月27日	子育て教室「子どもを救う予防注射」～知っておきたい注射の話	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	21組42名
2016年5月31日	WHO世界禁煙デー イオンモールキャラ川口前川	HPH推進センター	看護師	187名
2016年6月10日	「ベビーマッサージ」	小児科	看護師	3組6名
2016年6月16日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	2組4名
2016年7月7日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	2組4名
2016年7月20日	「体験保育」つくし保育所			
2016年7月22日	子育て教室「生活リズムは子どもを育てる!!」～早起き・早寝・みんなで子育て～	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	19組38名
2016年7月22日	医療記録の読み方講座	診療情報室	野田邦子	5名
2016年7月23日	医療記録の読み方講座	診療情報室	野田邦子	6名
2016年8月6日	「いのちの授業」	C3産婦人科病棟	助産師	20名
2016年8月18日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	5組10名
2016年8月24日	「体験保育」つくし保育所			
2016年9月1日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	3組6名
2016年9月3日	肝炎医療講演と「給付金」の無料相談会	B型肝炎対策チーム	増田院長、社会福祉士	44名
2016年9月9日	「ベビーマッサージ」	小児科	看護師	3組6名
2016年9月15日	「ベビーランチ」	小児科	小児科和泉医師	4組8名
2016年9月15日	「体験保育」つくし保育所			
2016年9月17日	介護者教室「腰痛のしくみと予防」	D5病棟	看護師、介護福祉士	11名
2016年9月17日	呼吸器学習会 テーマ 「気管支喘息」	呼吸器チーム		16名
2016年9月23日	「子育て教室」「どうしよう…子どもが病気になるっちゃった!!」～病気時の対応～	小児科	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	17組34名
2016年10月3日	小児科「喘息教室」	小児科	小児科和泉医師	10名
2016年10月6日	「孫と一緒に」広場	C3産婦人科病棟	小児科和泉医師	6名
2016年10月13日	「ベビーランチ」	小児科	小児科和泉医師	6組12名
2016年10月14日	「ベビーマッサージ」	小児科	看護師	3組6名
2016年10月15日	介護者教室「福祉用具・介護保険・みめま見学」	D5病棟	看護師、介護福祉士	17名
2016年10月19日	「体験保育」つくし保育所			
2016年10月20日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	2組4名
2016年10月21日	医療記録の読み方講座	診療情報室	野田邦子	10名
2016年10月22日	医療記録の読み方講座	診療情報室	野田邦子	1名
2016年10月27日	子育て公開講座「みんなで子育て、地域で子育て」	小児科	和泉医師	23組46名
2016年11月10日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	2組3名
2016年11月17日	「ベビーランチ」	小児科	小児科和泉医師	
2016年11月19日	介護者教室「栄養について」	D5病棟	管理栄養士	8名
2016年11月22日	育児講座「子育てで大切にしたいこと」	つくし保育所	帝京大学教授/清水玲子	28組63名
2016年11月25日	子育て教室「子どもを救う予防注射」～知っておきたい注射の話	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	24組48名
2016年12月3日	腎臓病教室「腎臓の働きと病気」	透析室	看護師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士	13名
2016年12月15日	「ベビーランチ」	小児科	小児科和泉医師	4組8名
2016年12月17日	介護者教室「認知症について」	D5病棟	看護師、介護福祉士	2名
2016年12月23日	「クリスマスのヘルシー料理とケーキ作り」	食養科	管理栄養士 影山知香	25名
2017年1月12日	「ベビーランチ」	小児科	小児科和泉医師	3組6名
2017年1月20日	いつでもどこでも体操 体験教室	リハビリ科	リハビリ科職員	
2017年1月21日	介護者教室「在宅での排泄ケア」	D5病棟	看護師、介護福祉士	17名
2017年1月27日	子育て教室「生活リズムは子どもを育てる!!」～早起き・早寝・みんなで子育て～	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	27組54名
2017年1月28日	肝炎医療講演と「給付金」の無料相談会	B型肝炎対策チーム	増田院長、社会福祉士	13名
2017年2月9日	「ベビーランチ」	小児科	小児科和泉医師	5組10名
2017年2月10日	親子ふれあい遊び	つくし保育所	つくし保育所保育士	16組37名
2017年2月16日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	5組10名
2017年2月18日	がん診療 市民公開講座 プラザイスト多目的ホール 「消化器癌の早期発見と治療について」 「乳癌の早期発見と治療について」	がん診療委員会	外科栗原医師 乳腺外科金子医師	122名
2017年2月23日	地域包括ケアシンポジウム			514名
2017年2月24日	医療記録の読み方講座	診療情報室	野田邦子	2名
2017年2月25日	医療記録の読み方講座	診療情報室	野田邦子	3名
2017年3月2日	「離乳食教室」	食養科	管理栄養士	4組8名
2017年3月9日	「ベビーランチ」	小児科	小児科和泉医師	5組10名
2017年3月10日	「ベビーマッサージ」	小児科	看護師	6組12名
2017年3月24日	「子育て教室」「どうしよう…子どもが病気になるっちゃった!!」～病気時の対応～	小児科	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	27組54名

うぶ声学校（初産婦向け）・経産婦うぶ声学校・帝王切開うぶ声学校

1課	女性の身体と妊娠の成立・お産の仕組み 妊娠中の栄養・妊娠中の保健と日常生活
2課	グループワークで自分の身体を知る 食事について・入院時の必要物品 母乳育児について
3課	グループワークでお産の流れを知る・妊娠 分娩経過と入院の時期・産後の経過・呼吸法
4課	お産に伴う社会保障制度・赤ちゃんとの生活 沐浴・座談会・お産のVTR・喫煙について
5課	おっぱい相談・ベビーマッサージ・交流会等 (料金：別途1000円)

2016年度医療懇談会

日時	支部	対応職場	場所	担当医師	組合員	職員
2017年2月4日	神根東	手術室・診療情報室	神根東公民館	忍	13	6
2017年2月4日	根岸	C5・地域連携課	市営住宅集会所	荻野	17	4
2017年2月4日	鳩ヶ谷中央	D3・外来看護科I	鳩ヶ谷公民館	高石	38	4
	鳩ヶ谷南	外来医事課				
2017年2月7日	東川口	C4・環境管理課	ミニコープ戸塚東	平澤	27	5
2017年2月7日	鳩ヶ谷里	地域連携看護科・つくし	里集会所	照井	32	5
2017年2月9日	戸塚南	ME・サポート	支部拠点	山田歩	20	5
2017年2月13日	源左衛門	CCきょうどう	西原町会会館	増田	22	4
2017年2月13日	戸塚中央	医療社会事業課	ふれあい戸塚	福庭	19	4
2017年2月16日	芝西	D5・経営企画室	民商川口3F会議室	荒熊	8	5
2017年2月18日	芝北	入院医事課・安全企画室	芝北公民館	高石	38	5
	柳崎	C2・教育研修室				
2017年2月21日	芝南	透析室・システム管理課	芝公民館	稲村	20	5
2017年2月22日	伊刈・芝	食養科	芝下町会会館	栗原	16	4
2017年2月22日	安行慈林	外来Ⅲ・医局事務課	さつきが丘町会会館	福庭	20	5
2017年2月24日	安行	検査科	樹里安	稲村	36	5
2017年2月25日	木曾呂・東内野	リハビリ科	エネ棟職員食堂	和泉・河野	12	5
2017年2月26日	道合・神戸	C3・資材課	神根西公民館	守谷	13	4
2017年3月3日	鳩ヶ谷辻	薬剤科・看護育成室	鳩ヶ谷南7自治会館		14	4
2017年3月22日	新郷	D2・総務課	新郷公民館	金子し	12	4
2017年3月24日	鳩ヶ谷桜町	健康管理課・外来看護科Ⅱ	ふれあいプラザさくら		18	4
2017年3月28日	前川	画像診断科	前川公民館	稲村	13	8
2017年3月30日	差間	D4	戸塚西公民館	稲村	15	5

交流会

「みんなで考える地域包括ケア」交流会 ～いきいき 安心して暮らせる まちづくり～ in 川口			
開催日時	2017年2月23日 (木)	来場者数	514名
会場	市民ホール フレンディア		
目的	①市民と専門家で、地域包括ケアシステムの課題を出し合い、今後の取り組みや、連携のあり方を考え、学びあいます。		
	②市民のニーズに対応できる相談・体験ブースを設け、健康づくりに関心を持っていただけるようにいたします。		
企画	シンポジウム		
	○テーマ いきいき 安心して暮らしていくために 今 何が大切か!? ー地域包括ケア時代の医療・介護と地域での暮らしを考えるー		
	○コーディネーター 増田 剛 (埼玉協同病院院長 川口市医師会地域包括ケア部)		
	○シンポジスト (敬称略) 杉浦 敏之 医師 (医療法人社団 杉浦医院理事長 川口市医師会地域包括ケア部 担当理事)		
	蓮沼 晃子 保健師 (川口市 長寿支援課 認知症担当)		
	小針 臣子 看護師 (川口市中央地域包括支援センター)		
	磯崎 悦子 (上青木在中 医療生協さいたま常務理事)		
体験コーナー			
○「体力チェック」コーナー			
○「筋肉トレーニング」コーナー			
○「認知症」コーナー			
○「転倒予防」コーナー			
○「お薬相談コーナー」 (川口薬剤師会) お薬相談&血管年齢			
展示コーナー			